

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
臨床心理学（カウンセリング含む）	2	後期	選択	いいえ	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>選択科目であることから、授業の詳細は学生のニーズに対応して組み立てられるよう柔軟に対応した。また、活動を多く取り入れ、学生が体験的に学べるように配慮した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
		やや達成された		やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価の平均は89点と高い。これは、授業中に学んだことのまとめや、体験したことの振り返り、あるいは自分についての心理テストを用いた総合所見のレポートにより評価されている。いずれも、実践したことを内省し、考察する課題である。これらの課題に積極的に取り組み、十分な内容であったためにいずれの学生にも高い評価をしている。以上のことから、それぞれの学生は、目標を達成しているものと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、保育の対象理解に関する科目であり、保育者として現場で適正に考え、判断するための知識と応用力を培う科目である。学生の達成度評価でも「的確に判断する力を得ることができた」に対して回答の平均値が高く、内容的妥当性があるものとする。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

2年生の後期は卒業後の現場での実戦に向けて、短大での学びの集大成の時期である。そのことに配慮して、選択科目である本科目は、できるだけ授業時間内での活動と課題への取り組みを充実させるように工夫した。また、授業内容について感想を述べ合うことも理解を深めるために必要な復習であることを学生に説明し、積極的に行うように促した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

カリキュラム内での位置づけに対して、概ね妥当な内容で実施できていると評価している。また、学生の達成状況も十分であると考えている。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの保健演習	2	後期	選択	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① 本科目は、保育士資格必修科目ですが、「関心のある内容である」と回答した学生がいたことは、科目担当者として嬉しいことでした。</p> <p>② 教科書に演習のメモを直接書き込めるように勧め、関連する資料はより最新かつ実際のものを準備しました。今年度は、北九州市の防災マップやハザードマップを学生数分いただく等、そのほか関係機関のご協力を例年以上に賜り、学生さんたちへの教材として質の高いものを提供できたと感じています。このことは、現場を想定したより実践的な学びとしてとらえてくれることができ、授業評価では、「3. 授業の質評価 (2) 期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値が4.4からも、受講生の取り組みは良好だった背景にあるのではないかと考えています。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績 (トータルの成績、行動目標あるいはDP別) の平均値や分布 (標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績で再試験対象者は、0名でした。全員が標準的レベルに達しており、8割以上の受講生が理想的レベルに達していました。この結果は、授業評価の「2. 到達度自己評価 (1) 自分なりの目標を達成した」の結果とほぼ合致しており、最終的な成績として提示した評価とほぼ一致したのではないかと考えています。このことから、評価の妥当性はあると判断してよいのではないかと考えています。</p> <p>さらに、本科目の特性として、1年生後期から始まる「こどもの保健Ⅰ」「こどもの保健Ⅱ」を踏まえ、保育現場に即した実践的内容を演習で学ぶ科目であるため、新たな知識の獲得というよりは、今まで養った知識をどう活用していくかが重要であるため、DP2とDP4の比率が高くなります。このことは、受講生達も認識しているところであり、毎回の振り返りシートで「ねんこノート (「こどもの保健Ⅰ・Ⅱ」で作成した個人のノート) をいつも見返して復習している」等の記述がよく見られた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

上記のように、本科目は、1年生後期から続く一連の科目であるため、カリキュラムマップ上の位置づけは明確であり、各期にそれぞれの科目の位置づけと共に、今後どのように学びを発展させていくかをオリエンテーションで説明しています。そのため、受講生達は、よく理解をして以前の科目のノート（通称 ねんこノート）を持参のうえ受講しています。DP,CPについても本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、厚生労働省から出ている内容に則って授業を組み立てているため、内容的妥当性は担保されていると認識しています。内容は提示されていますが、具体的な方法までは言及されていないので、本科目は「演習」科目であることから、技術を身につける科目として内容を組み立てています。保育という実践学では、やはり技術的な習得は不可欠と考えます。その為にも、本科目は技術を中心とした内容を準備することが重要だと思っています。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

本科目は、技術習得に視点を置いているため、授業時間内にいかに集中して真剣に取り組むかを求めています。そのため、自己学習は他の科目と比較して求めることはほとんどありません。しかし、教科書（本科目はノートではなく教科書を活用するよう求めています）に自分で調べたことやその資料のコピーを貼付している学生も複数名おり、演習が受講生達の学習意欲のきっかけになっているのではないかと考えています。

技術は、多岐に渡っての内容のため、1つ1つをじっくりと時間をかけて（日にちをかけて）できる科目ではありません。そのため、1回1回を授業時間いっぱい使って演習をおこなうようにしています。そのため、演習の準備と後片付けは、受講生には課しません。今年度も、教育支援職員さんが1名入ってくれたおかげで、演習に集中でき、学生指導に費やす時間も充分とることができました。技術演習を有する科目は、科目担当者1名で20名強の学生数を見ることは困難です。昨年度から同じ教育支援職員さんに入っていたおかげで、私自身も学生さんも昨年度よりもよりスムーズ演習がまわるようになりました。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

今年度の受講生は、1年生の時に授業運営に関する不平不満が強く、たびたび衝突することもありました。しかし、本科目が始まる時には、科目に対する姿勢が驚くほど積極的であり、真剣でした。その結果は、授業評価アンケートの至る所に表れており、自由記載の「2年間保健を学んですごくむずかしかったけど、命って世界で1番大切だから、最低限のことは勉強したいです」の記述に象徴されているように思います。次年度は、カリキュラム改正がされ単位数が減った学年になります。今までの学生さんと同じレベルの学びが担保できるように努めたいと思っています。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	河瀬 洋美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容「人間関係」	2	後期	選択	いいえ	73

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを用いて、シラバスに沿って授業を進めた。 ・人間関係については、保育上のみならず社会人として重要な科目と考え、丁寧な授業を心がけた。 ・授業中の私語もほとんどなく、熱心な態度に好感が持てる学年だった。 ・日ごろから子どもに関わる出来事やニュース等に興味・関心を持ち、実習での経験を生かしてか邸内暴自分なりの解釈や考察を試みるよう、児童虐待や家庭内暴力、DVなどの事例も取り入れた。今後関わる子ども達の背景にどのように働きかけたらいいかを考える時間を持つことができた。 ・テキストがあったので、事前学習はできたのではないかとと思う。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

・やや達成できた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

・わかりやすい授業を心がけた。
・重要な部分は板書し適宜、レポートを提出してもらったが、理解度は高かった。
・シラバスは変更せずにすすめたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

・達成度は「可」
・保育士経験を生かしてテキストの事例と合わせて、実例を挙げなが人間関係とは？をしてきたが、今後はより身近に感じられるよう、新聞や保育関係誌などからも具体例を取り入れた授業をしたい。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育メディア演習	2	後期	選択	いいえ	74

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①資格取得に必要な科目であるため、受講動機はほとんどが「必修」「資格に必要」と答えている。</p> <p>②もう一人の担当者と明確に分担した。メディアと子どもの育ち、保育や育児に関わるメディア環境の影響など、子どもの育ちから見たメディアと保育者としての関わりの在り方について学ぶような内容にした。</p> <p>③演習科目であるため、アクティブラーニングを意識し、ディベートや発表などを取り入れた。学生自身が置かれているメディア環境（スマホ依存など）や自分自身の経験を活かすようなテーマ設定を行った。「保育にメディアは必要なのか」という根源的な問いに、授業を通して学生が出会えたことになが非常に良かったと思われる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終成績の平均値は77.6、秀及び優は47%、再試験該当者は3名だった。再試験は授業内課題の未提出が多かった者が対象となった。平均点やレポートの内容から、DP1の知識理解は「やや達成された」と評価できる。</p> <p>また、授業内小レポートを8回中5回課し、それらの小レポートやディベートや発表の内容から「保育に必要などうかを含めて、自分なりに、メディアとの付き合い方を考えていく態度」が養われたことがうかがえたが、学生の評価では「課題を検討する力」「的確に判断する力」が共に4.0であり、DP4の態度に関しては「達成された」と評価できる。</p> <p>ただし、学生の自発的な学習に関しては、授業の課題以外の学習に70%が「していない」と回答するなど、自発的学習につながっていないことがうかがえる。ただし、小レポート、期末レポートとも下調べが必要な課題であったため「調べ学習をした」と記述した学生がおり、課題設定により自分なりに学習を深められる姿がうかがえる。</p> <p>以上の結果から、全体を通して「やや達成された」と評価したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目はCPにおいて「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付く科目の一つである。保育の方法に関わる内容であり、様々な保育の方法があることを知り、卒業を控えた学生たちが今後どのような方法をとるべきかを熟考する内容であるため、妥当であると考え。</p> <p>DPに関して、今後、子どもとメディアを巡る環境はますます変わっていくものと考えられる。卒業後も継続的に関心を持ち、常に問うていける姿勢を持ち続けるためには「思考判断」や「意欲関心」を高められる内容も盛り込んでいく必要があると思われる。今回の授業内容では、DPの位置づけは妥当であったが、これからの授業展開として課題としていきたい。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について。昨年度より課題にしていた学生の参加意識について、昨年度は「学生が参加する機会が作られていた」が3.7に留まったが、今年度は4.1と向上した。実際には学生の参加意識の差はあったが、こちらも参加意識向上の働きかけや声かけを行った結果、自分なりの参加の方法を模索したのだろうと推察する。今後も、日常的にメディア環境と子どもの育ちの問題に関心を高められるような内容、できるだけ新しい情報に即した内容に基づいて授業内容を組み立てていきたい。</p> <p>自由記述での学生からの意見は好意的なものであった。授業の質向上に、ますます励みたいと思う。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生が今後保育現場で、メディア環境との関わりを自分なりに考えて使っていく態度を養うことができたと評価できる。20年度は感染症予防の観点から、メディアや情報機器の役割が大きく変わった環境となり、改めて授業内容を精査する必要がある。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育メディア演習	2	後期	選択	いいえ	74

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・受講動機は次の通り。①必修科目である86.4%、②資格取得に必要である34.8%、④単位数を確保する3.0%、⑤GPAを上げる1.5%</p> <p>・幼免取得のための選択修科目である。</p> <p>・初学者の受講を想定して、教材・資料の配布を行った。</p> <p>・教材・資料の内容を理解、定着させるためには例題等による問題演習が不可欠となる科目であるため、コンピュータ操作の手順ならびに理論を解説した後、問題の演習を行う形で進めた。</p> <p>・コンピュータ操作の手順ならび理論の解説には、授業用に作成したスライド、プリント等を用い、教材・資料に沿って例題に取り組むなどの演習を行った。</p> <p>・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。"</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・担当部分の成績評価は、平均85点/100点であった。再試対象者は0名であった。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.7で最も高いスコアであった。</p> <p>(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.6で最も低いスコアであった。</p> <p>(9) 職業倫理や行動規範（守るべきルールなど）について学ぶことができた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

- ・学科のDPの、知識理解 (DP 1)、態度 (DP 4) の基礎部分を担う科目として開講している。
- ・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方法を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

- ・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.6~3.8であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。
- ・学習量の評価では、適度な予復習がなされていることが示唆される。授業の時間内に仕上がる程度の課題を演習として課しているが、概ね丁度良い負荷となっていることが推察される。
- ・図書館等の利用はあまりなされていないが、演習とした課題や参照するよう指示した資料はweb上で入手・確認可能であった結果を反映したものと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

- ・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。
- ・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育相談支援	2	後期	選択	いいえ	73

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は、ほとんどが免許・資格に必修科目であるためであり、科目へのモチベーションというよりは、保育職へのモチベーションを持って受講していると考えられる。そのため、保育現場での実践を意識した授業内容としている。現場で多く出会うような事例を準備し、それについて考える時間をできるだけ多く取るようにしている。ただし、臨床心理学や対人コミュニケーション、メンタルヘルスについての基本的な知識を伝えることと並行して実施しており知識と実践のバランスに注意しながら授業の計画を立てた。また、現場で様々な事例に対応するために、個別の方法やマニュアルではなく、基本的な考え方や視点の持ち方についての理解が深まるよう留意した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された			やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価平均値が79点であり、教育目標はおおむね達成されていると考えられる。また、アンケートの達成度自己評価の各項目に「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と回答している学生の割合も高く、その点からも、教育目標がおおむね達成されていると考えた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目に関するDPの項目である意欲関心に対応するアンケートの自己評価項目は、「(6) 学びを深めたいと意欲を持つことができた」であるが、その項目に「わりにそう思う」「かなりそう思う」と回答した学生は昨年度に続き、半数を超えていた。また、DPの技能表現に対応する項目である「(7) 技術を身につけることができた」、「(8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた」にも半数以上の学生が「わりにそう思う」「かなりそう思う」と回答しており、学生が授業を受けた手ごたえとして感じていることと授業の目標が一致していることがうかがえる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年度に続き、授業の進め方、評価基準などについて、15回の授業の中で、繰り返し伝えるようにしている。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>教育目標は、おおむね達成している。学生の自己評価も高く、授業目標や教員の意図が良く伝わっているように思う。今後も学生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会的養護内容	2	後期	選択	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士資格取得のための必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業実施にあたっては、社会的養護の担い手である保育士に求められる基本的な知識の獲得を目指すとともに、具体的な事例を用いた個人ワークやグループディスカッションを多く取り入れ、授業での学びをできるだけ実践と関連付けて考えることができるよう工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価としてS-18名、A-26名、B-27名、C-11名であり、S、A評価を取得した学生が全体の約61%であった。また再試対象者はいなかった。他方、学生による評価をみると、「学習達成度の自己評価」「授業の質的評価」の全項目に対して、全ての回答者が「まあまあと思う」以上の評価をしている。</p> <p>以上のことから、目標はやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の内容、方法に関する科目」に位置づけられている。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。</p> <p>DPでは、学生による授業評価の知識理解の観点、技能表現の観点での自己評価について、全ての回答者が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。また、適宜、各自のワークシート、グループワークシート等の確認を行ったが、回を重ねるごとに考察に深まりがみられた。</p> <p>以上のことから、内容的妥当性は問題ないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>今年度も授業内容の質を高めることを目的として、事例内容や事例検討方法の検討を行い、改善を図った。その結果、授業の質評価に関する全ての項目において「まあまあそうだと思う」以上の肯定的評価を得ることができた。また、学生の授業理解度を高めるため、リアクションペーパーの活用や個別での質問対応にも心掛けた。次年度も、授業の質の向上に向け、教材や授業展開の方法等の改善を図っていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。今年度も学生の授業理解を促すため、教材や個別ワーク、・グループディスカッションの展開方法の見直し等に取り組んだ。今後も受講生全体の学習理解度を高めていくことができるような方策を含め、授業の質向上に向けた取り組みを行っていききたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども音楽療育実習	2	後期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1年生後期の「こども音楽療育概論」2年生前期の「こども音楽療育実習」で学内で学修した論理、実技演習を土台に、より実践的な知識や技能を習得するという目的で2か所の実習先で音楽を中心にした活動を行った。こどもたちが音楽をとおしてのコミュニケーションを使い、周りとの関係性を深めていく姿をイメージさせながら、音楽の力を使ったセッションを行った。資格習得のために学生も緊張感を持って臨んでいた。本年度のこども音楽療育受講生は11月30日に「西南女学院100周年プレイベント」として井堀市民センターにて「小さな森の音楽会」を開催することができた。北九州交響楽団、本学の地域連携室など様々な方々のご尽力を得て、音楽会の全プログラムに学生が参加し、地域の子供たちと密にかかわる音楽会を、音楽の多様な力を持って成功させた。「沢見あやめの森保育所」の実習では学生が園の先生方と綿密な打ち合わせをして、意義のある実習を展開することができた。初回に「音楽のもつ多様な力がこどもの発達をどのように促すか」について活発な意見交換をしてお互いの学びを理解し合い、これからの実践の方向性を共有したことで取り組みへの意欲が向上した。実習後の振り返りを行う中で就職したのちも実践できる数々のプログラムを吸収したため学生各々が自分の学びの深まりを実感していることが感じられた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①トータルの成績が90点以上が78.3%で、ほぼ全員が大変意欲的に取り組み、実習後の報告会の振り返り、個人面談などで公正に評価して手ごたえのある成果だったと考える。しかし学生の②知識の確認、修正、新たな獲得の項目がかなりそう思う、わりにそう思うが9割と大変高かった一方で、自由記述の「自分はまじめに取り組んだが、欠席したのに資格が取れた学生がいて納得できない」ことに不満がある学生がいて、その点は重く受け止めた。大きな会を企画したために、放課後や昼休み、朝の練習などがあり、授業以外のそうした自主練習に参加しなかった者への不満があったので、各々の事情を受けとめる機会を早い時期に適切に設けなければいけなかった。現代の学生どうしは一見ラインなどでつながっているように見えるが、実際は顔を見合わせて表情を感じながら相手を思いやる機会が減り、短い文言だけで判断して誤解を重ねていってしまう。公平さは保ったことをしっかり伝えていきたい。</p> <p>②専門分野における的確な判断力の項目で3,6という数値であったが、他の項目も昨年より0.2ポイント下がっている。グループ活動のきしみや協働作業の滞りを述べる学生には最後の個人面談で十分に話を聞いた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>1年後期の「こども音楽療育概論」、2年前期の「こども音楽療育演習」そして本科目である2年後期の「こども音楽療育実習」を終え、全員が「こども音楽療育士」の認定を受けることができた。シラバスに示した①対象児の理解を深め、②実習を通して、療育的音楽活動の効果を実感し、③実際の療育的音楽活動を実施する力を持ち、自身の療育的音楽活動の振り返りをして、より対象児に合った療育の在り方を考察できるという学生の達成目標をめざし、学生自身による授業の質の評価で、5項目すべてで、わりにそう思う、かなりそう思うが63%で、「まあまあそう思う」を加えると90パーセントを超えるので内容的には妥当であったと考える。受講動機の、1「資格習得に必要である」が62パーセント、2「関心のある内容である」が19%と低い数字で、そもそもこの項目に回答している人数が受講生の72%というのが合点がいかず、授業評価の持つ意味を真摯にとらえるためには教える側でもっとしっかり説明をしなければ不十分であったと考えた。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>子どもの実態を知り、視覚と聴覚、さらに自ら動作化することで音楽を通したコミュニケーションを体験する活動は市の職員の方の視察においてもお褒めをいただく出来栄になった。「子どもの歌」の中で3拍子の曲はとりわけ数が少ないので、チャイコフスキーの「花のワルツ」をモチーフにして、衣装を着けタンバリンでリズムを子どもたちと合奏する充実した音楽体験を足掛かりに、練習をを繰り返す毎に技術が磨かれていくことを実感できたということが面談で明らかになった。しかし次の実践計画が机上の学修に留めるに終わってしまったので、卒業後も療育的音楽活動についてのアドバイスができるように学生との関係を大切に、見守っていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>保育士という仕事は、いわば子供たちの縁の下での力持ちになる場面が多く、あたかも子どもは「自分の力で成し遂げた」と思えるように、力を貸し、支えることが大切で、それは複数の人間が音を紡いで合奏することに似ている。旋律を引き立たせ、音の構築を支え、効果を楽しみ、それを子どもたちと共有するという姿勢を学んでほしいと願った。本科目は「こども音楽療育概論」「こども音楽療育演習」「保育内容・表現」「障がい児保育Ⅰ・Ⅱ」「音楽の基礎」「こどものうたあそび」「こどもの歌と伴奏法Ⅰ・Ⅱ」いずれの教科で学んだことをも余すところなく役立てて、療育的音楽活動の支えにすることが肝要である。音楽への鋭い感性とこども理解、障がい理解、音楽的技術の向上をこれからも目指して「こども音楽療育士」として音楽の力を療育に活かしていける学生を輩出していきたい。学生一人ひとりに助言したり、技術的指導をしたり、面談をとおして折々の問題点を共有した。選択科目であることで、学生の仲間意識が育ち、充実した学びを積み重ねることができたと考えている。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
在宅保育	2	後期	選択	いいえ	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、全国保育サービス協会による認定ベビーシッター資格を取得するための必修科目です。そのため、授業評価における受講動機は、「資格取得に必要である」が大半を占め、その他に「友人が履修している」と回答した受講生もいたが、受講生全員、特に演習はイキイキと取り組んでいたように感じています。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学期途中で、時間割の都合、受講辞退者が1名いましたが、それ以外は成績評価も良好で科目を終了している。「可」が2名いましたが、2名は小テストの日に体調不良のため欠席をして小テスト未受験のため、そのための点数がなく、成績評価に響いてしまった。今年度も、本科目の大半が個別保育や家庭訪問に際し必要な技術習得のための演習で授業内容を組み立てました。ゆえに、DP5が中心となります。しかしながら、授業評価アンケートによると、「2. 到達度自己評価」は全項目平均値が4.5であり、受講生達は、総括的に本科目を理解し修得しようとしていたことが分かります。成績評価よりも私たちが思っている以上に受講生の自己評価の方が良いことに、次年度は評価方法の見直しをおこなう必要性を感じました。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

訪問型保育について教授する本科目は、保育士養成課程とは少し異なり、個別保育という特殊な内容になります。しかし、受講生達の学びを見た時、既習の科目を踏まえた学習と位置付けており、科目担当者が考えている位置づけと合致していると評価しています。この位置づけは、DP,CP,カリキュラムマップに反映されており、内容的妥当性があると思っています。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」

「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

今年度も2名体制で授業を展開しました。特に演習は、クラスを半分に分け、人数を少なくすることで手厚く指導できるようにしています。また、昨年度同様、個別保育のあそびの演習は、現場経験豊かな教員に担当していただき、産後ケアは医学的裏付けや妊産婦さん、褥婦さん、新生児が対象となってくるため、私が担当しました。それぞれの現場経験を生かした演習をし、受講生達に実際の体験談も交えながら授業が展開できたと思っています。また、演習にあたっては、教育支援職員さんのご協力も得ることができ、十分に演習時間が確保できたことも良かった点としてあげられます。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

科目担当者が考えている以上に楽しみながら学んでくれていることを授業評価アンケートの自由記載や毎回の授業感想を読んで感じました。次年度も、ただ単に認定資格を取るため、というよりも、実際に役に立つ科目として多くの学生さん達に受講していただけるような授業を展開していきたいと思っています。そのためには、さらに、実践力につながるよう実例を踏まえた内容をもっと盛り込み、また、演習時間を充分確保できるよう次年度も教育支援職員さんのご協力を得たいと思っています。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどものうたと伴奏法Ⅱ	2	後期	選択	いいえ	69

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。</p> <p>前学期と同様に個々のレベルに応じてピアノの技術を習得していく科目のため個人レッスンの形態をとっている。その際、非常勤助手の教員9名を含め10名の教員が本科目を担当しているが、非常勤助手9名のもとグループをつくり個人レッスンを行い、科目担当者は全学生の進捗を把握し、学生からの質問の場や発表の場を設けることのできるようローテーションの体制をとっている。</p> <p>グループで偏りがでないよう、入学前の学生のこれまでの音楽経験や1年次開講「こどものためのピアノⅠ・Ⅱ」2年次前期開講「こどものうたと伴奏法Ⅰ」での課題の進捗状況をもとに、グループ内の個々のレベルに合わせて均等にグループ分けをし、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。</p> <p>就職試験でピアノの実技が控えている学生には、必要に応じて授業内でも対応し、課題内容については学生が保育現場で活用できるよう、学生の進捗に合わせて簡易伴奏にアレンジする方法を教授した。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は76.5点であった。(S-11人、A-26人、B-21人、C-6人、D-4人) 本科目は保育において必要なピアノの技術を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験が異なることにより、学生によって目標の達成にばらつきが生じている。</p> <p>授業評価では、「全般的評価」が平均4.2となっており、また「到達度自己評価」における「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」についても平均4.2とあることから、概ね本科目の教育目標がやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、「専門科目」における「保育の表現技術」に位置づけられており、1年次開講の「こどものためのピアノⅠⅡ」、2年次開講「こどものうたと伴奏法ⅠⅡ」の計4単位のうち2単位は幼稚園教諭免許に必要となっている。そのため、学生によっては資格取得のために必須な科目であり、受講意欲も比較的高い。

DPに関しては、「到達度自己評価」の「技能表現」において、8割の学生が「わりにそうだと思う」以上を回答しており、就職試験や就職に向けて準備をしていく中で、より真剣に保育者として求められるピアノの技術を身につけるために意欲的に取り組む様子がみられた。以上のことにより、内容的妥当性に問題はないと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

ローテーションの形態をとることにより、学生が発言しやすい場を設け、学生の進捗を把握し各担当教員との連携を図れるよう心掛けた。
また、今期はローテーションの際に少人数での発表の場を設けることにより、学生の課題に対する意識を高めるだけでなく演奏する際に大切なことを改めて考え、気付きの時間となるよう心掛けた。
これにより「授業の質の評価」において（4）（5）の項目ではほとんどの学生が「まあまあそうだと思う」以上の回答がみられた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組み状況から、概ね授業の目標は達成できたと考える。次年度ではより学生に即した指導ができるよう、教員間で連携しながら授業を展開できるよう心がけていきたい。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	村上 里絵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの生活とあそび	2	後期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①卒業後には保育現場で有資格者として比喩をすることを念頭に、実際の現場をかなり意識した講義を心がけた。2018（平成30）年度に改訂された幼稚園教育要領等にも強調されている「保幼小の接続」の重要性と共に、「乳幼児教育」と「小学校以降の教育」の違いを理解し保育に携われるようにと選定したテキストを用いて、乳幼児期の子どもの学びについて伝えていった。②実際に保育現場で行われている特に室内遊びの一部を中心に取り組む時間を設けた。そこでは、子ども理解を前提に、子どもの気持ちに寄り添える保育者の存在の大切さを実感できたのではないと思われる。③受講動機を分析すると、「必須科目である」が43.3%、「資格取得に必要である」が46.7%、「関心のある内容である」が30.0%であり、「資格取得」に必要であることと、内容に対する関心の高まりが窺えた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された			やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①テキストのテーマである「育ちと学びをつなげる接続」に基づき、「小学校と幼児期の学びの違い」についてレポート課題を出した。学生は、小学校と幼児期の子どもの学びの違いを分析し、保育者の役割に沿って研究的思考が育ってきていると感じられた。②近年、保育現場においても、「自分で考える」「あきらめないうで繰り返し行う」「考えたことを表現する」ことが保育者にも求められているが、その一翼になったのではないと思われる。次年度にも生かしていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①「自分なりの目標を達成した」項目では、「かなりそう思う」が36.6%、「わりにそう思う」が60%と、合せて96.6%が自分なりの目標を達成したと感じていることは、大変うれしいことである。また、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことが出来た」項目においても、「かなりそう思う」が40%、「わりにそうだと思う」が56%で、合せて96%の学生が学びを深める意欲を持てたことは、授業開始時に「具体的に学ぶ方向性」「将来の保育現場で学びを継続する必要性」について繰り返し話したことも影響していると思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

自宅学習量や機会が少ないことが課題である。保育を取り巻く社会状況や、保育現場に関する新聞やニュースなどの事例考察や図書館利用などの機会も作りたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

個々の学生が卒業を前に、「プロの保育者として歩みたい」「専門領域をもっと学びたい」と更に意欲を持ち、一人一人の自己学習量が増えることを願い、学習環境づくりにより一層の努力をしていきたい。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの文学と物語	2	後期	選択	はい	44

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>現代の管理社会や教育環境の中で、自分のアイデンティティを確認するためには、何か架空の世界、文学というものが非常に重要な意味を持って来る。絵本や児童文学には人間が生きていくための原動力となる探求心や想像力、感動する心を育てるエキスを満ちた児童文化がすでに形成されている。したがって児童文化を基軸に据えて、文学を通して、児童文化が幼少期からの内的世界でどのような形で発展していくか、もう一度、自分の生きてきた道をフィードバックすることにより、将来の保育職に就くために求められる大切な知識、意義、を理解させるべく、基礎能力を養うことに力を注いだ。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>この講義においても最終的には自身の考えをきちんと表明することが重要となるので、必然的に読書力が要求される。そのせいか、文字離れ仕掛けていた学生も積極的に図書館を活用する傾向にあるようで、それはうれしく思っている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>本科目の位置づけから見た内容的妥当性については、85%活かされていると思われる。目的意識の強い学生の集まりであるので、まだまだ向上していくことが期待できるであろう。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>本科目は、認定絵本士取得のため必須であると同時に、学生の意欲も如実に表れて、なかなか活性化した授業展開となっている。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>達成状況の総括的評価としては、大体85%である。年年歳歳活性化しているようで、来年度が楽しみである。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育総合表現	2	後期	選択	いいえ	73

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育科全体のまとめと位置づけられている科目であり過去4年間は外部のホールにて土曜日の午後で開催してきたが本年度初めて2020年1月15日（金）に、本学マロリーホールにおいて「シオンの丘子ども劇場」というタイトルで開催した。園バスや徒歩で北九州の7つの園から300名を超える園児さんと引率の保育士さんが参集くださり、大変活気のある素晴らしいまとめの発表を行うことができた。学生は協力して行うことの大切さ、そして表現する充実感を存分に味わうことができた。舞台上立った演技者はもちろん、大道具、小道具、衣装、音響は生の楽器を使った臨場感あふれるものを、照明はマロリーの機材を駆使して、学生自身の手によって行い、おのおの力を結集し、充実した舞台を作ることができた。学内で行う利点は、リハーサルと本番が同じステージでできること、会場費を削減できたこと、日程を変えたことで保護者に頼らず幼稚園・保育園の学外行事として来ていただけたので、毎年の懸案事項であった「集客」という、最も難しい問題をクリアできたことだったと考える。会場はたくさんの子どもの笑顔と元気な声に包まれて、次年度への弾みにもなった。プログラムの作成、当日の案内、お礼状の作成まで学生各々が自覚を持って取り組むことができた。他の授業との連絡、機材の新調などが課題として考えられるが、できる範囲で改善しながら次年度に向けて考えたい。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP4「様々な課題を検討する力を得た」がわりにそう思う、かなりそう思うを合わせて71%、DP5「的確に判断する力を得ることができた」は、わりにそう思う、かなりそう思うを合わせて72%で練習時間を確保し、居残りの作業などは極力行わず、授業時間内で仕上げる姿勢を維持したこと最後まで集中力を持って取り組んだ様子がわかる。</p> <p>②自由記述で成功した喜び、楽しかった充実感を書いているものも多く、当日の来場した園児さんの笑顔に支えられてのびのび表現できたと考える。</p> <p>③トータルの成績は90点以上が82、2%と大変好成绩であったが、担当教員が合議制で決定したことで公平性は担保されている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育科全体のまとめと位置づけられている科目であり過去4年間は外部のホールにて土曜日の午後に開催してきた。学科会での検討会を重ね、本年度初めて、平日に本学マロリーホールにおいて「シオンの丘子ども劇場」というタイトルで開催した。総務課、警備室、はじめ多くの学内の部署の方々にもご協力をいただき園バスや徒歩で北九州の7つの園から300名を超える園児さんと引率の保育士さんをお招きすることができた。発表会場としてマロリーホールを使わせていただくことには様々なご意見もあったが、結果としては大変音響のいい、歴史あるホールに来ていただけたことで地域貢献という意味でも、大変有意義であったと考える。学生は協力して行うことの大切さ、そして表現する充実感を存分に味わうことができた。大道具、小道具の運び出しも滞りなく進めることができた。以上のことから本科の内容は妥当であったと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方は5人の担当教員が密に連絡を取り合いそれぞれのグループの進捗状況を把握しながら的確なアドバイスを行ったが、後半に、卒業生のアドバイスをもらう機会を設けたことで、一気に流れが加速して良いものを創造するエネルギーが高まったように感じた。30コマの時間をどのように組み立てるかを苦心してきたが、対象者を幼児さんと絞り込んでいくことでやるべきことの焦点が明確になり、道具、衣装、音楽、幕間のつなぎ、迎え方から送り方、様々な場面への想像力が働いたと考える。振り返りシートの提出が遅れた学生が少し目立ったので、最後の提出日に向けて工夫が必要だと感じた。図書館の本、データベース、インターネットの利用がのべにしても38%しか届かなかったのが、今後の課題である。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>舞台上立った演技者はもちろん、大道具、小道具、衣装、音響は生の楽器を使った臨場感あふれるものを、照明はマロリーの機材を駆使して、学生自身の手によって行い、おのおの力を結集し、充実した舞台を作ることができた。学内で行う利点は、リハーサルと本番が同じステージでできること、会場費を削減できたこと、日程を変えたことで保護者に頼らず幼稚園・保育園の学外行事として来ていただけたので、毎年の懸案事項であった「集客」という、最も難しい問題をクリアできたことだったと考える。会場はたくさんの子どもの笑顔と元気な声に包まれて、次年度への弾みにもなった。プログラムの作成、当日の案内、お礼状の作成まで学生各々が自覚を持って取り組むことができた。他の授業との連絡、機材の新調などが課題として考えられるが、できる範囲で改善しながら次年度に向けて考えたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生と常に話し合いをした上で、毎回の授業の内容を決定していた。できるだけ多くの体験学習ができるよう、学外での学習も積極的に取り入れ、保育現場での園外保育に役立つよう環境ミュージアムと到津の森動物園に行き指導員や専門家の指導を受ける機会も得られるようにしている。また、身近な科学遊びなど直接保育現場で活かせる学習を行い、かつ保育科ブログで紹介することで学生も学びの意義づけができるよう工夫している。こうした活動を望んでいる学生が受講しているため、受講のモチベーションが高く、スムーズな授業運営が行えている。残念ながら、最も大きな学外学習である離島キャンプは感染症防止の観点から実施することができなかった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果は、非常に高い点数だった。学生が望んで入ったゼミであり、常に学生と話をしながら双方向で授業を進めており、自身がやりたい学習ができたこともあって学生の満足度も高かったと思われる。自由記述には「楽しかった」という意見が散見され、学びが楽しいものであることを実感できる授業になったと評価できる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門教育科目」の「総合演習」に位置付いている。少人数の単位で、仲間意識を高めながら教員の指導の下で活動内容を企画し実施する内容であり、また保育者としての専門性も求められるため、内容は妥当であると考えられる。またDPに関しても、一年次に引き続いてより専門的な内容で体験できる機会が多くなり、DPについても妥当であると考ええる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生とその都度話し合いながら、一年間の授業を進めてきた。こちらから提示する活動もあったが、学生からの賛同も得て進めたため、満足につながったと思われる。但し、事前学習などの課題が少なかったため予習復習、自発的学習を行った学生がほとんど居なかった。次年度も、「体験学習」の枠組みは持ちながらも、学生との話し合いのもとで授業を進めていきながら、自発的学習を促せるような必要な課題を提示したい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>ゼミ活動を進めていく上では、学生とのコミュニケーションを良好に保つことが非常に重要だと実感できた。次年度以降も学生の学習モチベーションを高めるよう工夫を行いたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>音楽ラボと銘打ったゼミ活動は、名前の通り音楽中心の活動になった。前期の最初は保育現場で用いる器楽合奏を各々が選び、実際に演奏する中でより良い響きを工夫し、既成の楽譜に手を加えるという作業を通して、「音楽の道しるべ」というべき楽譜の存在の正確さ、すばらしさを実感できたと考える。また、保育の現場で歌われている歌をピアノの「連弾」で演奏する活動を通して、各々のピアノテクニックに見合ったアレンジで友達と演奏する喜びを体感した。前期の終わりにはミニ発表会を実施した。</p> <p>後期は西南女学院100周年プレイベントの一つとして井堀市民センターにおいて「小さな森の音楽会」を開催し、ゼミ生による音楽物語「ごんぎつね」を演奏し大いに成果を上げることができた。来場した子どもたちにもストーリーがわかりやすいように大型紙芝居を用いて情感あふれる合唱物語を歌う上げ、また北九州交響楽団の演奏するアンダーソンの「タイプライター」という曲では、実際のタイプライターをゼミ生がソリストとして参加し、たくさんの拍手をいただいた。学外の会場で音楽会を開催するという過程で、学生のスキルアップは目を見張るものがあった。音楽を苦手と考えていた学生も授業評価では9割の学生が自己の目標を達成したと評価していた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学修のための情報利用はインターネットを通じたものが多かったが、繰り返しプロの演奏を見たり聞いたりしてアンダーソンの楽曲のソロの部分を練習したり、「くるみ割り人形」のバレエの舞台を見たりして、自主的に大変よく活用していた。学習量の個人差があったのは、演奏に向けての担当するものが各々異なり可視化しにくい部分があって誤解を招くことがあったが、「合わせて表現する」段階では全体を考えて意見を出し合いゼミとして団結して音楽を作り上げる姿が見られた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

西南女学院創立100周年イベントとして最も身近な地域である井堀小学校校区の方々に参加型音楽会を行うことができたことは意義深いものがあつたと考える。普段はなかなかコンサートホールに行くことができない乳幼児やお年寄りに手軽に音楽を楽しんでいただき、同時に学生の普段の練習の成果を皆さんに見ていただき井堀地区に文化の香りを届けるという目標をもって学生自身が試行錯誤しながら活動できたことは内容的に妥当であつたと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

観客全員が参加できるためにはどうしたらよいかという基本を軸に、外部の方々への心配り、楽器運搬をはじめ会場作りにかかわる様々な作業など学生の質問を教師も含め全員で共通理解しながら解決に向けて行動できたと思う。改善点はこうした毎回の協働作業で積み残しがないように話し合いをもって進められたので大変好ましい雰囲気が保てたのはよかったと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

達成状況は地域貢献という視点からも成果を上げることができ総合的に満足のいくものだったと考えられる。ただしこうした機会は毎年設定できるかが見通せず、次年度はどのように活動の軸を持つかは新年度に十分検討しなくてはいけないと考える。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学内外での活動を通じて、体験的に学習していくことを目標に授業を計画した。受講生は、地域でのワークショップの実施や社会的問題と保育の関連についての学習への関心を持って選択していた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された					やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>地域のイベントでのワークショップの企画・運営は、保育現場での様々な行事の運営に役に立つスキルを身につける場として機能していた。ドキュメンタリー映画をつうじて社会問題と保育の関連を考える活動では、これまであまり意識してこなかった事象について考えるきっかけとなっていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

イベントの企画・運営と社会問題に目を向けることを授業の柱としている。他の科目で学んだことを総合的に実践する場を経験することで、保育に対する意欲と関心を高め、保育の表現技術やコミュニケーション能力を実践的に高める内容であったと評価できる。また、社会問題に目を向け視野を広げることで、保育の現状について考える場を提供できた。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の進め方は実践的であった。実践した内容を他の講義内容とリンクするような言葉かけをしていくことにも重点をおいた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

授業目標は概ね達成されている。学生の自己評価も十分に高い。今後も地域での実践を重ねることと、さらに他大学の学生との交流の機会を持ちながら受講生の視野を広げていく内容にしていきたい。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育科の必修科目である。一年次の「こども学基礎演習」での学びを踏まえた上で、より専門的に保育の内容に特化したゼミ活動を展開している。実践活動は実習でも行うが、それは常に全てを評価されるという緊張感に包まれているため、ゼミ活動では保育の一環として責任感を持って活動しながらも、ゆったりとした雰囲気の中で遊びを展開していくことを目的としている。対象は子どもから高校生、親子など様々であるが、内容は学生自身が主体となって考えられるように働きかけるように心掛けた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は平均94.2点（最高97点、最低88点）であり、目的は達成されたと考えられる。評価はグループ討議での積極的発言や製作への取り組み、準備への貢献度などを中心に行った。より対象が楽しめるように作品や内容を吟味するため、授業時間以外も活動を行ってきた。しかしながら、積極的に活動する学生への負担が高くなる傾向も見られたため、次年度以降の改善に活かしたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育科専門教育科目の必修でもあり、学生は保育科教員の専門性に依拠して自らが選択した担当教員のゼミに配属されている。本ゼミはボランティアも含む保育活動を展開しているが、実習での経験を基に学生自身が対象を中心とした実践を行い、実践後は課題を明確にしたうえで次の活動や実習に活かしている。</p> <p>これは対象に合わせた計画を立て、実践したうえで自ら課題を見つけ改善をしていくという、保育者として必要とされる資質でもある。学生は「到達度自己評価」において、4.8（全項目、中央値5.0）を示しており、課題に向き合いながら達成していったという自信にもつながっているのではないかと考えられる。また、授業の質評価においても4.8（中央値5.0）であり、教員と学生とが連携しながら授業を成立させることができたことがうかがえる。</p> <p>以上のことより、内容的妥当性に問題は無いと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価は4.8（全項目）であった。学生たちが興味・関心を持つゼミ・教員を自ら選択しているためであることも考えられるが、実践を通して学生たちの達成感や満足度が高かった（到達度自己評価4.8-10項目）ことも影響していると考えられる。学生は、教員が提供した活動について、対象に配慮した展開ができるように積極的に取り組む様子がみられた。次年度も学生が主体的に考えることができるようにしていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>他者との協同やその他の取り組み状況を見ると、基本となる授業の目的は達成されたと考えられる。次年度は活動の幅を広げ、研修会などへの参加等状況に合わせて積極的に取り組んでいきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・受講動機は次の通り。①必修科目である83.3%、②資格取得に必要である16.7%。</p> <p>・学科における必修科目である。</p> <p>・少人数の利点を活かし、参加者相互の意見交換が活発に行われるよう演習形式で進行した。</p> <p>・グループワークを多く行い、能動的な姿勢を促した。</p> <p>・参加者各自が授業や学外実習から得た知見をグループで共有することで、事象の多面的な捉え方を促した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された					達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・定期試験を経ての成績評価は、平均91点/100点であった。再試対象者は0名であった。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.8で最も高いスコアであった。</p> <p>(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた</p> <p>(3) 事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた</p> <p>(7) 自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた</p> <p>(8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた</p> <p>(9) 職業倫理や行動規範（守るべきルールなど）について学ぶことができた。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.8で最も低いスコアであった。</p> <p>(1) 自分なりの目標を達成した</p> <p>(5) 自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・学科のDPの態度（DP4）の基礎部分を担う科目として開講している。・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.8～4.0であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。・演習における各自の課題のための調査等に図書館を利用しているが、さほど自覚されていない。これは、授業中に全員で図書館に向かうなど明示的・統一的な行動を「図書館の利用」と認識しているためと思われる。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none">・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。・図書館を授業中に明示的・統一的に利用する活動を取り入れる余地があると考ええる。
-------------------------------	---

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は卒業必修科目であるので学生は全員受講している。一年次の「こども学基礎演習」での学びを踏まえた上で、学生自らが様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し解決できるように指導を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は93.6点（S-6、A-1）である。ほとんどの学生がSを取得していることから、目標は達成されたと考えている。Sを取得した学生は、保育者として自己分析ができ卒業までの課題を発見し適切な計画を立てることができるようになっていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「総合演習」に位置づけられており、卒業必修科目であるため受講の意欲は高い。成績評価を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、自己評価の達成率も5.0ポイントであったので、内容的には妥当であったと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で授業を行った。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りがみられるため、すべての学生が発言しやすい環境づくりができるように検討していきたい。また、図書館やインターネットの利用率が低かったので、積極的に利用するように促したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。学生の意見がより反映できるように個別面談を行ったが、次年度は少人数制のゼミの良さをより生かせるように丁寧な指導を行っていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>こども学特別演習は、保育に関連する学びの総合的な科目として位置付けられており、こども学基礎演習やその他の科目で学んだことを土台として、ゼミごとにテーマや活動内容を決めて、それぞれに実践的に学びを深める科目である。今年度は、1年生後期で学習した「キリスト教保育」に基づき、「世界の子どもたち」をテーマに、学生たちが主体的に調査・研究を進め、具体的にその学びを社会に還元できるよう、前期では世界のこどもたちに関する文化についての研究、後期では1年生と共同で大学祭にてフェアトレードのカフェを出店した。また今年は昨年に引き続き、「世界のこどもたち」というテーマを学生自らが選択し受講したため、ほとんどの学生が意識が高く主体的に活動していた。後期は、大学祭の出店のみならず、クリスマス礼拝での劇のボランティアと募金のためのバザー出店を積極的に行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、①自分なりの目標を達成した(4.4)、⑥専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた(4.4) ⑨職業倫理や行動規範について学ぶ事ができた(4.4)、平均値(4.4)がなどから、全体として教育目標が達成されたと言える。達成の目安の標準レベルである「積極的にゼミ活動に参加し、計画的かつ継続的に研究課題に取り組むことができる。」に対し、専門分野の学びや行事の実施においても、学生が主体的に進めることができ、自らが設定した研究家だに積極的に取り組みことができたため、態度についても、達成されたと言える。トータルの成績の平均値は約85%以上であり、達成の理想レベルである「研究課題に対し、ゼミ教員と相談しながら主体的に進めることができ、その成果を他者にわかりやすく表現することができる」という内容に関しても達成されたと言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 グループとして自ら課題を設定し、フェアトレードの研究を進め、大学祭においてフェアトレード商品の出店を経験し、ワールドビジョン・ジャパンに寄付を行った。これは、学生たちが専門分野の知識を生かし、行動目標である「学外者と協力して保育に関する活動を企画運営する」ことができたと言える。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 到達度自己評価は平均として4.4ポイントであった。本科目の行動目標①②③すべてにおいて、学生自らが到達できたことの現れであり、内容的に妥当であったと言える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては、平均が4.4ポイントであった。学習量において、活動の記録ができていなかったことが課題としてあげられる。記録の取り方について、今後検討する必要がある。また、情報利用や図書館利用についても、最新の情報に触れられるように促す工夫を検討したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>トータルとしての学生の達成度が高かったことは今後につなげていきたいが、個人レベルでは、より極めの細かい指導を目指し、一人ひとりがより積極的にに関わり、一部の人の負担を負うことができるようなゼミ作り、チームワーク作りを目指したい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・本ゼミの説明のときに、どのような内容を実践していくのかを説明していたこともあり、学生は自分たちで実践してみたいことをもって授業に参加することが出来ていた。</p> <p>・授業の実施に当たっては、学生が主体的に活動を進めることができるように、教員は最低限度の指標を示し、見守りに徹するように努めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・学生が実践したい活動の希望を出し合い、意見調整をしながら実践へとつないでいくことができた。</p> <p>・企画立案、実践計画、制作、子どもや保護者を前にした現場での実践、その反省を次の計画に活かすといった、概ね計画的な実践ができたと思われる。</p> <p>・途中、意見が衝突する場面もあったが、学生同士で解決しようと努力する姿があり、最終的には、活動を通じて達成感や満足感を味わうことができたと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

・学生同士の意欲の温度差を感じることはあったが、質の高い保育の探求や、他者との協働といった観点からは目標は概ね達成されたと思われる。

・よって、内容的妥当性に問題はないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

・授業での活動を通して、「書店との企画」に参加したり、「おはなし会」を実施したりといった、認定絵本士の学習内容を体験することができ、資格取得はできないが、活動そのものは1年生へのよいモデルとなって、結果的に学生にとっても納得のいく活動ができたと思われる。

・活動を進めるために、自分たちで内容を決めて流れを組み立て、必要なものを作成して実践に臨む形ができ、学生による主体的な活動ができた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

・開始時より、どのような活動をするのかの指標を明確にしていたこともあり、学生による主体的な活動ができたと思われる。

・途中、学生の参加の温度差が目立ち、それぞれの意欲に影響することがあったが、教員の叱咤激励によって、軌道修正することができたと思われる。

・はじめから計画していた活動のほかに、突発的に入ってきた活動もあって計画が変更になることがあった。臨機応変の対応も知らせつつ、計画に則った活動も重視していきたい。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育・教職実践演習（幼稚園）	2	後期	選択	いいえ	73

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格取得における必須科目であり、在学時における実習を全て、また保育に関する学びの大半を終了した学生たちが受講している。本科目に至るまでに学生が経験してきた学びを活かし他の学生と共有できる講座、学生にも親しみのある卒業1年未満の卒業生を招いて新任の保育者としての心がまえを伝える講座など、実際にロールプレイを行ったり人との協働の大切さを感じられるように構成している。また、今回は保育者の実践記録を基にグループワークを行い、保育の在り方について考える講座を取り入れ、客観的な視野で保育をとらえられるよう配慮した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
		達成された		やや達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は平均点84点（最高点97点、最低点60点、A-27名、B-27名、C-11名、D-8名）である。クラスにより評価にばらつきがみられるものの、半数以上の学生はAまたはBの評価であり、全体としては目標の達成に近づけたと考えられる。</p> <p>また、学習量や図書館・情報の利用も通常の講義と比較すると行っている学生は多く、自ら授業に向けて積極的に取り組んでいるようである。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格取得における必須科目であり、学生は主体的に学ぶ姿勢ができています。講座の中では授業や実習の中で獲得してきた知識や技能を十分に発揮するために事前準備や振り返りをしっかりと行っている学生も多い。その結果「学習到達度の自己評価」も概ね「まあまあそうだと思う」以上を選択されている。</p> <p>以上のことより、内容的妥当性には問題はないと考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業はオムニバス形式でそれぞれ専門の教員が担当している。模擬保育では各クラス毎に担当教員が異なるが、事前に入念な打ち合わせを行うことはもちろん、授業実施の都度主担当との打ち合わせを行うことで全クラスの評価が統一されるよう配慮している。また、学生は模擬保育などのロールプレイにおいて、準備から実践及び与えられた役割に真摯に取り組み、お互いが高めあう関係性がみられた。昨年度の課題であったグループワークは、互いに意見を出し合う姿が見られた。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の授業評価及び授業への取り組み状況からは、概ね本科目の目標は達成できたと考えられる。今後より学生が関心を持つとともに保育者としての課題を見出し解決していけるような授業を展開していきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育実習指導	1~2	四期	選択	いいえ	74

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は幼稚園教諭免許状取得のために必要である「教育実習」と関連した科目であることを学生も理解している。そのため、免許状取得を目指す学生は全員受講している。</p> <p>同実習関連科目である「保育実習指導」との関連性も考慮した上で内講座を展開しており、入学時から全実習終了まで、さらには卒業後を意識したものとなっている。特に1年次は学外実習に出ることを鑑み、中学校・高等学校で経験した体験実習とは異なる保育者としての視点を持った子どもとのかかわりができるように指導している。前期には附属幼稚園での「見学実習」で観察の仕方、記録のまとめ方、考察の仕方の基礎を学び、後期は実際に観察を中心としながらも手あそびや絵本の読み聞かせなどの部分保育、保育者としての視点を持ちながらの子どもとの関わりが持てるようになることを目指して指導している。2年次は手作り教材の発表や短時間の指導計画を立てての実践、最終の実習では全日を実習生が担当する機会をなるべく持つなど、より保育者として責任を持った実習を体験できるように指導している。授業では、これらの実習で少しでも学生が自己を発揮できるように、発表の機会や指導計画・日誌の添削、報告会実施による他者との学びの共有など、学生の学習準備性に合わせた授業計画を立てている。各実習終了時には個別の面談時間を設け、自己課題を克服できるように働きかけている。</p> <p>また、欠席した学生へは理由を考慮したうえで指導し、必ず全授業内容を補完するようにしている。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は、平均点94.2点（最高点97点、最低点79点、A-48人、B23人、C-1人）である。実習訪問や実習園からの評価表においても、概ね高い評価を受けており、実習を重ねる毎に学生の課題が克服されているようである。科目内での課題の提出や教材研究の実践を含めて教育目標は達成できていると考えられる。</p> <p>また、図書館利用やシラバスの活用も通常科目よりも多くなされており、学生が自ら学ぶ意欲や実習に向けて真摯に取り組む態度が育まれている。一方で、授業に向けての準備や事後の振り返りが必要な科目であったにもかかわらず、「0回」の学生が多い。授業時に全体に働きかけることはあるが、提出物等があまり積極的でない学生に対する個別の働きかけを今後も取り入れていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>幼稚園教諭免許状取得のための必須科目であり、実習に必要な計画を立てているため、学生の受講意欲は高いと考えられる。また、DPを達成することができる様、他の科目との連携や学習の連続性を考慮しているため、内容的妥当性については問題ないと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>授業の進め方については、全体、2クラス制、1クラス制など講座内容によって取り入れており、特に学生からの指摘はない。このことから、今後も学生の理解度や習熟度を鑑みたくえて、授業の進め方を組み立てていきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えられる。今後も他の関連する実習との整合性や授業の進捗状況による学生の準備性を意識した授業を展開して行けるように取り組んでいきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅱ	2	通年	選択	いいえ	42

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育所実習Ⅱのための指導を行う科目であり、乳幼児の発達の特徴や保育士の役割の理解を深めるとともに、学生の生活技術や社会人としてのマナーなどを含めた指導と助言を行っている。実習先の多くは、保育所実習Ⅰの実習先であり、前回の実習よりもさらに充実した内容で実習できることを念頭においている。また、2年生での実習は就職活動とも関連している要素があり、将来を見据えて実習に取り組めるように指導している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講した学生のほとんどは、実習を無事に終了し、実習により児童福祉施設やそれを利用する子ども達への理解を深めていることから、教育目標を達成しているものと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

実習と実習指導はDPの全ての項目と関連しており、学内で受講した科目の知識を総合的に活用し発揮する場である。内容的妥当性は、学生の授業評価アンケートの結果からは難しいが、実習生に対する実習園からの評価からは、おおむね妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

保育実習指導Ⅰや保育実習指導Ⅲ、さらには教育実習指導との連携を密にし、過不足なく実習指導が行えるように、内容の精査を重ねていく必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の実習中の様子や事後指導での様子から実習指導における教育目標は達成できていると感じている。また、実習園からは、多くの学生が良い評価を受けている。今後もこのような質を保つことが課題といえる。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅲ	2	通年	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>施設実習のための指導を行う科目であり、様々な児童福祉施設の特徴や役割の理解を深めるとともに、学生の生活技術や社会人としてのマナーなどを含めた指導と助言を行っている。また、2年生での実習は就職活動とも関連している要素があり、将来を見据えて実習に取り組めるように指導している。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講した学生のほとんどは、実習を無事に終了し、実習により児童福祉施設やそれを利用する子ども達への理解を深めていることから、教育目標を達成しているものと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

実習と実習指導はDPの全ての項目と関連しており、学内で受講した科目の知識を総合的に活用し発揮する場である。内容的妥当性は、学生の授業評価アンケートの結果からは難しいが、実習生に対する実習機関からの評価からは、おおむね妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」

「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

保育実習指導Ⅰや保育実習指導Ⅱ、さらには教育実習指導との連携を密にし、過不足なく実習指導が行えるように、内容の精査を重ねていく必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の実習中の様子や事後指導での様子から実習指導における教育目標は達成できていると感じている。また、実習機関からは、多くの学生が良い評価を受けている。今後もこのような質を保つことが課題といえる。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学Ⅱ	2	後期	必修	いいえ	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の精神習得の出口の部分を担当しているため、キリスト教学Ⅰの聖書の学びから発展させ、幅の広い教養を身につけるため、多岐に渡る内容のキリスト教芸術と文学に触れ、視野を広げる授業展開を行った。また、授業以外のチャペルの参加や、教会訪問なども評価に取り入れ、授業外でキリスト教に触れる体験の機会を設けた。</p> <p>②毎回の授業中に記入するポートフォリオでの学びの確認だけでなく、チャペルポートフォリオを導入し、毎回のチャペルのまとめを記入するようにした。出席率でしか評価できなかったチャペルでの体験的な学びを、総合的に把握することができるようになった。</p> <p>③後半で行うグループ発表の機会は、学生の関心にあわせて展開し、様々な角度からキリスト教について学びあう事ができた。</p> <p>④学期の最後に「感恩奉仕と私」というタイトルでレポートを書き、2年間のキリスト教の学びの集大成をひとつの文章としてまとめる作業を行った。これによって、学生が聖書やキリスト教教育の学びから何をうけとり、卒業していくのが良く見えるようになった。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、知識理解に関しては4.1ポイントであった。到達度の自己評価の平均値は(4.0)。トータルの成績の平均値は約80%以上。チャペルの出席率約75%以上とコメントカードの内容、教会訪問の出席率約90%以上と感想文の内容から、感恩奉仕の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。</p> <p>また、「感恩奉仕と私」というテーマの学生のレポートの内容から、90%以上の学生が、聖書について、キリスト教について、人生の基盤となるべき学びができたとのことから、全体をとって教育目標が達成されたと言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は本学の要となる聖書の内容を学ぶ「キリスト教学Ⅰ」の学びを踏まえ、展開している。聖書の学びを前提としての発展的な学びであるが、全体的に一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 著名な西洋の文学作品・芸術作品を、聖書を土台として考察し、キリスト教に関連するテーマをグループで調査・発表するという行動目標については、昨年同様学生たちが意欲的に取り組み、講義だけでなく、グループでのアクティブラーニング形式を取り入れたため、学生自らで習得した内容も多く、内容的に妥当であったと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価についての平均値は(4.1)であった。昨年度より、チャペルポートフォリオを導入したことは、チャペル出席へのサポートとなった。チャペル出席はキャンパスライフにもあるように、1年間をとおして3分の2の出席を必要としている。キリスト教学がない2年生前期のチャペル出席についてもチャペルポートフォリオを導入し、出席を促すことができた。</p> <p>本講義は、キリスト教に興味関心のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4.2であったが、引き続き、アクティブラーニングの手法を工夫しつつ、学生たちが自ら聖書を開いて、日常生活に応用できるような仕組みを作りたい。また、「ナルニア国ものがたり」を中心に聖書の解き明かしをする本講義については、学生のコメントにあるように、興味関心を持ちつつ学ぶことができているため、引き続き内容を深めていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>①必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の集大成として学ぶ科目であるが、キリスト教学Ⅰを発展的に展開していく上で、Ⅰでの学びが重要である。Ⅰの復習もⅡでの講義に加えつつ、学生が中心となって行うディスカッションや調査・発表を取り入れ、学生が主体的に授業を展開できるように促している。授業の最後に記入するポートフォリオやチャペル出席・教会訪問に加え、チャペルポートフォリオを導入し、さらに関心あるテーマについてグループで調査・発表し、最後に「感恩奉仕」とは自分にとってどのような意味を持つか、自分自身の内面の変化を洞察していく作業をおこなったため、前年度より、内容が深まったと言えよう。引き続き、学生の興味関心を引き出し、「感恩奉仕」について日常的に考えることができるよう促すことが課題である。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
スポーツ実技	1	前期	選択	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は資格取得に必要であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学年は1年生(通年)であり、今後資格を取得するために、自己の体力について把握することは大切である。また、授業だけではなく卒業後も生涯スポーツとして運動を続けてもらうために、さまざまな競技を行いルール理解や技術習得ができるように工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は95.4点 (S-69, A-6, B-2) である。ほとんどの学生がSを取得していることから、目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は「一般教育科目」における「自然科学系」に位置づけられており、資格取得に必要である。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

体力測定を前期の4月と後期の1月に行うことにより、学生自身が1年間の体力の変化を把握できるようにした。また、さまざまな競技においてゲーム形式だけではなく、技術習得のための練習を取り入れ、学生がお互いに教え合うなどの姿が見られた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。バレーボールやバドミントン等の競技だけでなく、フットサルやホッケーなどの競技もできるように、環境や道具を整備したい。また、安全管理のために今ある古い道具を新しくすることを検討したい。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
文学	1	後期	選択	はい	71

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>今、なぜ文学なのか、という問題定義を皮切りに、その解答と、学ばなければならない理由を目的とし、そのことをまず理解させ上質な文学作品、ベストセラー小説の意義を考えることから始めている。学生自身は、自身に近い事柄ほど関心を抱くので身近な問題から導入することを心掛けた。どちらかといえば文学社会学的考察で、人の心の問題、背景、時代、歴史観、言葉、表現といったすべての事柄を例に挙げて、文学が実学であること、そして生きてゆくうえで必要不可欠な学問であることを中心に講義した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>文学の講義においては、最終的には自身の言葉で述べることを求めているので、必然的に多くの書物を読破しなければならない。そういった点においても図書館で調べる積極性が生まれたように見受けられた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の位置づけから見た内容的妥当性については、80%活かされていると思われる。願わくば、もう少し時間をかけて学生自身が自分の言葉で表現することへの関心を引き出せれば、もっとグレードはアップするはずであると思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>意欲的な取り組んでいる様子がよくわかり、うれしく思う次第である。この科目は認定絵本土取得のために必須であるので、学生の意気込みもおのずと違うのである。これはありがたい現象であると捉えている。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>達成状況の総括的評価としては、今年度は80%である。年々向上しているように感じる。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	森 敦嗣

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本国憲法	1	後期	選択	はい	79

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は選択科目ではあるが、保育士資格を目指すものにとって日本国憲法は必修である。しかし、保育士を目指すものにとっては一見関連性がなく、学生たちにも学ぶ意義が見出しにくい科目である。今年度の授業では授業冒頭で、近いうちに憲法改正の投票が行われる可能性があることを説明し、国民投票において自分が賛成か反対か投票する意味でも、日本国憲法の内容を知っておくことに大きな意義があることを学生たちに認識させた。さらに授業の合間合間にアクティブラーニングとして映像を使った模擬裁判を行い、グループで討論させて意見をまとめさせた。</p> <p>②難解な専門用語や理論考察が必要なため、毎回配るレジュメの最後に必ず本日の講義のポイントとなる部分をまとめた問題を入れ、学生に解かせることで知識理解を定着させるようにした。</p> <p>③後半の授業で解説した「首相公選制」と「裁判員制度」それぞれの制度について賛成か反対か、その理由も含めて学生たちに自分の意見を書かせた。さらに同様の問題を期末試験にも盛り込み、学生たちが授業で学んだ事柄について自身の考えを理論的に書いているかどうかを評価した。</p> <p>④映像授業として、模擬裁判を行うための資料映像を使用し学生たちのグループ討論を行う際の参考とさせた。さらに裁判員制度の広報映画を見せ、学生たちも将来参加する可能性のある裁判員制度への理解とその重要性を認識させた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>ABクラス、CDクラスともに成績の平均値は予想よりも高かった。再試対象となった学生は数名いたが、成績不良で単位を落とした学生は最終的にはいなかった。ただ1限目の講義だったせい、一部の学生に集中力が欠ける部分が見られ、授業の合間にこちらから注意を呼びかけなければならなかったことが残念であった。これは今後の授業の進め方における課題となった。学生の到達度自己評価に関するアンケートでは多くの学生が肯定的評価をしており、知識理解の面からは目標は十分達成されたといえる。しかし、「コミュニケーションや表現力を高めることができた」の項目が平均値3.1であり、平均値3.5だった前年度から数値が下がっていた。アクティブラーニングを目指すうえでこの項目の数値は重要なため、グループ討論を増やすなど対策を講じてきたが期待したような結果を得られなかった。この結果を踏まえ、2020年度の授業ではこれまでの模擬裁判に加え、死刑制度の是非についてもグループ討論を行わせたいと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本科目は選択科目ではあるが、一般教育科目の一つであり、DP1に関わるものである。本学の保育科の教育目的の一つが豊かな教養と専門知識をもった保育の専門家の育成であるが、本科目はその教育目的からみても内容的には妥当性であると考えている。</p> <p>②DP、行動目標からみても内容的妥当性 知識理解に関する達成度に関しては、成績評価および到達度自己評価の平均値が全体平均が3.5であり、前年度より数値は下げたものの達成されたといえる。学生の自由記述では授業ごとに配布したレジュメプリントが分かりやすく、復習する際に役立てたという意見が多かった。本科目は保育士を目指す上で必修科目だが、いわゆる「社会科」という科目が苦手とする学生から「単位を取れるか自信がない」という声が以前よりあった。そのため手助けになればという意味も込めて毎回の授業でレジュメプリントを配布していたが、その効果が表れてきたと感じている。授業を通して日本国憲法に関心を持ち始めた学生がいたことは喜ばしいことであるし、今後もレジュメプリントのブラッシュアップに努めていきたい。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について、「テスト、レポートの評価基準は明らかであった」「説明は理解しやすいものであった」についての回答は平均値3.7であり、ほぼ全員が肯定的評価をしていた。前年度はこの項目に否定的評価があったため、配布プリントを工夫したり、授業終わりのまとめの時間を設けるなど行ったがその効果があったと思われる。反対に前年度は評価が高かった「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた」については前年度より数値を下げってしまった。2020年度はこの項目の向上を課題とし、模擬裁判以外にもグループ討論をする機会を設けていきたいと考えている。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>成績評価および授業評価の平均値が前年度よりも上がったことは、学生の知識形成の達成と授業自体の質を上げるという2つの課題を達成できたと思われる。特に毎回の授業で配布するレジュメプリントに対する学生の評価が上がってきたことは、毎年取り組んでいたプリント内容の改訂の効果が表れてきたという意味では非常に有意義であった。一方で、アクティブラーニングの面については、グループ討論の題材が前年度からあまり変わっていなかったせいも効果はいまひとつであった。このことを踏まえ、今年の授業では模擬裁判だけでなく他の憲法に関わる制度について学ぶ機会を増やし、今まで以上に学生たちが意見交換をする場を設けていきたいと考えている。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
メディアリテラシー	1	後期	選択	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・受講動機は次の通り。①必修科目である67.1%、②資格取得に必要である40.0%、③関心のある内容である12.9%、④単位数を確保する17.1%、⑥友人が履修している1.4%</p> <p>・幼免取得のための選択修科目である。</p> <p>・初学者の受講を想定して、テキスト、問題集の指定をした。</p> <p>・テキストの内容を理解、定着させるためには例題等による問題演習が不可欠となる科目であるため、コンピュータ操作の手順ならびに理論を解説した後、問題の演習を行う形で進めた。</p> <p>・コンピュータ操作の手順ならび理論の解説には、テキスト、授業用に作成したスライド、プリント等を用い、問題の演習には、テキストの例題、問題集を用いた。</p> <p>・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・定期試験を経ての成績評価は、平均83点/100点であった。再試対象者は0名であった。</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.0で最も高いスコアであった。</p> <p>(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた</p> <p>・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.7で最も低いスコアであった。</p> <p>(8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・学科のDPの知識理解（DP1）、態度（DP4）、技能表現（DP5）の基礎部分を担う科目として開講している。・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.7～3.9であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。・図書館等の利用は、ほぼ行われていなかったが、初学者向けの科目であり、教室内における解説・演習で完結するので特段支障はない。ただし、理論が身近な場面で活用されている事例等を参照するなどを促すことも学習の深耕に資すると思われる。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none">・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。
-------------------------------	--

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	Michael Jordan Berg

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
英会話	1	後期	選択	no.	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>We followed the textbook fairly closely.</p> <p>Students were occasionally given homework but not usually.</p> <p>At the end of the year they did a presentation which was a play based on the units in the textbook.</p> <p>They wrote and memorized it.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	yes.	Yes			yes.	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Grades were given based on participation, tests, the final exam and effort exerted.</p> <p>Students seemed generally satisfied with the class, and it seemed neither too difficult nor too easy so I suppose I will continue to administer it the same way next year.</p> <p>There was no internet outside learning.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

The class was communicative with plenty of opportunities for free discussion however students' levels were such that much care and structure had to be provided.

Motivation included providing a fun atmosphere and positive feedback generally.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Keeping students on task was perhaps the biggest challenge as some would finish tasks early and then - having nothing to do - interfere with the slower students completion of said assignment.

A good way to proceed then would be to seat students next to other students of comparable capability perhaps.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

Maintaining a positive atmosphere and keeping the zone of proximal development level ideal is key in these classes but generally the students enjoyed and were challenged by the class, and so I will continue to do it how I have so far frankly.

I should perhaps focus on my handwriting on the board however as it can get messy.

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	Marne Saddy

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもとふれあう英会話Ⅰ	1	後期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This course is divided into two sections; one of which focuses on building essential language skills for teaching in English, and the other which focused on designing and implementing classroom lesson plans. Weekly lessons provided meaningful practice of both listening and speaking skills through a variety of interesting children's topics. The short focused lessons allowed students to practice using functional language in very practical work related situations..</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP 1)	思考判断 (DP 2)	意欲関心 (DP 3)	態度 (DP 4)	技能表現 (DP 5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Assessment was based on attendance 15%, class work 30%, homework 5%, dialogue presentations 30%, and a final test 20%. Students scored well in most areas of assessment with the majority of students receiving a grade in the 75-85 range.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

Through active participation, students helped to create a very positive and encouraging learning environment. Students were also encouraged to challenge their language skills by creating original dialogues, role plays and classroom teaching exercises. Overall, students improved their speaking ability by achieving a higher level of language acquisition and production.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Goals for the next academic year include better instruction on note taking, lesson review, and vocabulary building exercises. Although students generally performed well in class and rated themselves satisfactorily on the "I can..." targets, they often failed to review weekly lessons and could not recall the target language and grammar in the following class.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

Better instruction on how to use class workbooks to encourage careful note taking, completion of homework and lesson review may help keep students focused on clear objectives for each class.

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	Marne Saddy

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもとふれあう英会話Ⅱ	1	後期	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>This course is divided into two sections which focus on basic skills and communication based learning. The textbook for the communication component of the course was "Communicate Abroad" (Cengage). Weekly lessons provided meaningful practice of both listening and speaking skills through a variety of interesting travel topics. The short focused lessons allowed students to practice using functional language in very practical work and leisure situations.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>Assessment was based on attendance 15%, class work 30%, homework 5%, dialogue presentations 30%, and a final test 20%. Students scored well in most areas of assessment with the majority of students receiving a grade in the 75-85 range.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

Through active participation, students helped to create a very positive and encouraging learning environment. Students were also encouraged to challenge their language skills through dialogue manipulation, role plays and supplementary exercises. Overall, students improved their speaking ability by achieving a higher level of language acquisition and production.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

Goals for the next academic year include better instruction on note taking, lesson review, and vocabulary building exercises. Although students generally performed well in class and rated themselves satisfactorily on the "I can..." targets, they often failed to review weekly lessons and could not recall the target language and grammar in the following class.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

Better instruction on how to use class workbooks to encourage careful note taking, completion of homework and lesson review may help keep students focused on clear objectives for each class.

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会福祉	1	後期	選択	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業の実施に当たっては、社会福祉がわれわれの生活に密接にかかわるものであることの理解を促すとともに、福祉の専門職である保育士に求められる知識の獲得に向けて、適宜、具体的な事例を用い、現場実践に引き付けて学びを得ることができるよう心掛けた。また授業開始時に小テストを実施し、予習、復習に対する意欲の向上と学習状況の把握につとめた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された		やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績評価としてS-26名、A-20名、B-12名、C-19名であり、S、A評価を取得した学生が全体の約60%であった。また再試対象者は6名であった。他方、学生による授業評価をみると、「達成度自己評価」では、概ね「まあまあそうだと思う」以上の評価である。しかし、いくつかの項目で1～2名の学生が「少しそうでないと思う」と評価している。標準的レベルに達しなかった学生や達成度の自己評価において課題を残した点から鑑みて、達成の有無についてはやや達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、「専門科目」における「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられるもので、福祉系科目の基礎となる科目の一つである。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。DPでは、学生による授業評価の知識理解の観点での自己評価について、全ての回答者が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。以上のことから内容的妥当性に問題は無いと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今年度も学習環境の質の向上を目的に、リアクションペーパーの活用や授業時間内に質問の時間の設定、配布資料の改善等の取り組みを行った。またその結果、授業の質評価の全ての項目で、回答者の約99%から「まあまあそうだと思う」以上の解答を得ることができた。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。

今年度も、昨年度同様、学生の授業理解を促すための改善（情報提示の方法、配布資料の内容の見直し、質問しやすい環境づくり等）を行った。今後も学習環境の質を向上させるべく、継続的に取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの保健	1	後期	選択	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、保育士資格取得のための必修科目です。授業評価アンケートでは「必修科目である(85.3%)」もしくは「資格取得に必要である(52.0%)」のどちらかで回答しおり、なおかつ、それ以外にも「関心のある内容である」や「先輩に薦められた」という回答も同時に見られた。ただ必要であるから、というだけでなく、関心をもって受講してくれたことがわかりました。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	どちらともいえない			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価として、「秀」31.2%、「優」31.2%、「良」15.5%、「可」22.1%であった。「可」には、9名の再試験者を含みます。今年度から今までの4単位から2単位に減少しました。医学的知識が皆無の諸学生に保健学の一部、さらに小児領域を取り扱うことは、ひらがながわからない子どもにいきなり漢字を教えるものに匹敵すると感じています。そのため、授業時間が限られていましたが、できる限り基本的知識を押さえた上で厚労省が求める内容を取り扱うよう準備を整えました。かなりの量を詰め込んだ形になりましたので、学生さんの実感が得ることが困難であったのではないかと推察しています。その結果が授業評価アンケートの「2.」の項目による大きな隔たりに示されているように感じています。しかしながら、本来の科目の大きな位置づけであるD1に関する「知識の獲得」の平均が4.6であったことは、学生さんの感覚と合致できていたと安心しました。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>授業時間数と込めた内容から考えると、DP1だけで精一杯であったと反省しています。授業評価アンケートにも「知識の獲得」に関する項目は、平均4.6であったのに対して、「思考」に関する項目は、平均4.3~4.4と低めでした。私自身が感じている感覚と学生さんの回答が合致していることから考えて、本科目のDPは、今年度の場合、妥当性に一部疑問を残すところとなったように感じています。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目を始めるにあたり、自己学習がかなり必要であることを説明しました。その結果、授業評価アンケートの中で、「課題以外に取り組んだ学習」に50名（65%）の学生さんが「復習、ノートづくり」と回答してくれていた。1回目の授業時に2年生のノートを見本として見ていただいたことでイメージがついたのか、個性的なノート作成をそれぞれがしており、しっかりと勉強した跡が残っていました。自由記載には「たとえがわかりやすく児ぬんの将来に生かしたいと思いました」「たくさんの知識が得られました。勉強になりました」「難しい単元だったけど、わかりやすく説明をされて、命について、子どもについて深く考えることができました」という意見が複数ありましたが、1名のみ「授業内容が詰めすぎて、きつかった」という記述があり、全くその通りであると私自身、その学生さんのコメントに納得しています。どう考えても時間数と内容量に偏りがあり、授業進行が速くならざるを得ないことに私自身恐怖を感じながら授業をしていました。その割には、「きつかった」というコメントが1名のみであったことは意外でもあり、成績評価が例年とそれほど大差なかったことは驚きでした。これは、学生さんたちの努力の賜物だと思っています。学生さんの負担を少しでも減らせるように次年度は工夫をしていきたいと考えています。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>6. と同様</p>
-------------------------------	---------------

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども家庭支援の心理学	1	後期	選択	いいえ	79

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格のための必修科目であることから、学生の受講動機は資格取得のためである。学生による自己評価「学びを深めたいと意欲を持つことができた」の平均は3.8点と十分に高い得点であったことから、意欲を持って取り組んでいた様子が分かる。授業の内容としては、基本的な知識と現場でそれを応用するための事例を用いた学習とのバランスに配慮しながら、1年生にとっても理解しやすい内容になるように留意した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された		やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生の成績の平均は80点であり、多くの学生が授業の目標を十分に達成しているといえる。また、達成度自己評価の各項目の平均値も3.7から4.1と十分な値であり、学生自身も目標到達の手応えを感じているといえる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

1年生後期科目で、心理学的知識をもって子育て家庭を支援していくための科目である。「子ども家庭支援論」などの福祉系科目と「教育相談とカウンセリング」といった心理学的な臨床実践に重点をおいた科目との橋渡しの役割を担っている。そのため、知識や考え方の基盤をつくることと、現場に即した学びの両方の要素が必要である。授業の構成としてもその点に留意している。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

今年度は、2名の教員が担当したために、教授内容の重複、あるいは欠落に配慮して進めた。次年度は単独担当となるために、その配慮は不要となる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の自己評価としても課題などに対する成績評価としても、十分な学習達成状況であった。次年度以降は、さらに受講内容を充実させるようにしたい。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	村上 里絵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育の計画と評価（教育課程含む）	1	後期	選択	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業後すぐに保育現場に携わることを意識して、可能な限り保育現場の具体的事例を挙げながら、「保育の計画」と「評価」の大切さを説明してきた。しかし、実際の子どもの姿を見ながらの指導ではないために、想像の中での「教育課程」「保育課程」「全体的計画」のイメージを掴むのは、かなり困難で且つ受け取り方・学び方に個人差があると思われる。その割には、学生の到達度自己評価が思ったよりも幕表を達成していることは、大変評価すべき点であると思われる。受講動機に関しては、「必須科目である」が86.8%、「資格取得に必要である」が44.7%と、「資格を取得しなければならない」気持ちが受講動機となっており、「自ら学びたい」と思う科目ではなことが窺える。受講しながら、保育現場にとって「計画」と「評価」が保育の質向上につながる重要性を一人一人が認識できるような授業にしていきたいと思う。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
		やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>0歳児～2歳児の年齢別保育活動（一コマ）の計画を立てる課題をレポートさせた。レポートは、添削及び採点して成績に反映させた。日ごろから授業を熱心に受けている学生とそうでない学生にはその差がみられるが、全体的に計画（案）の「ねらい」及び「内容」についての理解が深まったように思われる。課題について、もう少し理解が深められるように、図書館利用や予復習時間が増加するような働きかけや授業工夫が求められると考える。次年度には工夫を入れたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

保育の「計画」と「評価」をすることが、保育者の重要な役割であることを認識できるように、2年生前期までに「子どもの姿を読み取る」→「その姿からねらいを考える」→「ねらいを達成するための予想される子どもの活動」→「その活動を刺激する環境構成を考える」→「保育者の援助を考える」→「実践する」→「評価する」という営みが楽しいと思えるような、それぞれの関係性をより詳しく、また具体的にワークできる時間も作っていききたいと思う。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

「保育の計画と評価」の性格上、理論での説明が主になってしまう。その為に出来るだけ具体的事例を話すようにし、テキストも保育現場の事例をもとに書かれたものを選んだ。理論を基本としながらもアクティブラーニングが出来るような工夫が必要であったかもしれない。次年度の課題としたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学生の「自宅学習時間増加」と「保育理論の理解」「学習への動機づけ向上」の工夫とその手立てを、次年度の課題としたい。また、実際の子どもの姿、行動からその意味を考えるグループワークの時間もとっていけるようにしたい。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育内容「環境」	1	後期	選択	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①資格必修科目のため、受講動機にはそれが反映されている。</p> <p>②演習科目であるため、実技とグループワークを積極的に取り入れた。できるだけ学生の関心や好奇心を高めるよう、授業回毎の関連を意識的に持つようにした。また外部講師を招き、「環境」への理解が深まるような内容も盛り込んだ。実技にあたっては、事前の準備の必要性も説明しており、また振り返り学習をその都度行うようにした。</p> <p>③単元毎にプリント課題を課し、学習の振り返りとまとめができるように工夫した。プリントやレポートについては評価の対象となることを説明し、メチを守って提出するよう促した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終成績の平均は82.5点、秀および優は71%、再試験該当者は3名であった。昨年度が秀と優を合わせて40%だったことを考えると平均点も大幅に上昇し、全体的に非常に良い成績を取れていることが分かる。</p> <p>再試験はレポート提出を行ったが1名未提出だったが、提出した者は合格のレベルに達している。そのため、DP1の知識理解については「達成された」と捉えてよいと考える。</p> <p>授業内で課していた小レポートに関しては、単元毎に振り返りができるように作成していたため、その都度の振り返りに関してはできていたと思われる。この小レポートに関しては意欲関心につながるよう設定していた。</p> <p>実技やグループワークを行い、DP5の技能表現を達成するよう設定していた。実技は昨年度より機会を増やし、振り返りレポートや授業評価アンケートの自由記述から察するに、おおむね好評であり、楽しみながら学ぶことができていたと思われ、「やや達成された」と評価できる。</p> <p>以上、2つのDPの達成度から鑑みると全体を通しては「達成された」と評価したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CPでは「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付いている。保育の5領域に関する内容を扱う科目であり、内容的に妥当であると考えます。</p> <p>DPでは「知識理解」「技能表現」を問うように設定している。演習科目であるため、学生の参加意欲をより引き出せるような工夫を行っていききたい。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方について、教室に限らず、屋外環境なども用いて授業を行ったりした。実技の授業は学生が楽しみながら学ぶことができ、環境遊びの技能向上につながったと考える。振り返りの学習も個々人が十分に理解を深めることができていた。後期は秋～冬にかけての授業期間であるため、屋外での実技は季候の良い開講直後の時期にならざるを得ない。20年度は感染症予防の観点から、グループワークや実技を減らさざるを得ないが、工夫しながらできることを探っていききたい。</p> <p>評価基準に関して明確に示すことが課題となっていたが、プリントや期末レポートの評価を明示することで理解を得られたように思われる。</p> <p>昨年と比べて、学生の参加意識も大幅に向上している。授業を進行していても、学生が興味関心を高めて授業に臨んでいることが伺え、スムーズに授業進行させることができた。</p> <p>自由記述でも学生が授業を十分に楽しめ、また実習等に活かそうとする姿勢が見られる。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>保育の5領域に関わる内容であり、より具体的に体験的に学ぶ授業だと考えている。昨年度より課題にしていた授業への積極的な参加意欲向上は、十分に達成できた。</p> <p>これからも「環境」のとらえ方について様々な視点を持ち、日常的に保育環境への関心を持てるような教材の提供をしなければならないと考えている。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	倉光 晃子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
特別支援教育論（障がい児保育含む）	1	後期	選択	いいえ	79

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1年生後期の開講でやや専門性の高い内容であったため、学生としては資格取得に必須の知識・技能として受講していたのではないかと考えられた。今回の受講動機の結果を見ると、「必須科目である」72.1%、「資格取得に必要である」55.9%である一方、「関心のある内容である」は14.7%と留まっていた。これらの結果から示唆されるものであった。開講時には、学生たちの身近な体験や話題に触れ、今後の保育実習や保育実践に重要な内容であることを働きかけた。また、本科目に関連するTV番組、映画、漫画、そのほか参考資料等随時紹介して、授業内容のイメージが膨らむような学習準備を提案した。授業内でも、具体的な事例や実践方法、教材等を取り上げ、関心を引きつけるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
		やや達成された	達成された	やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は73.11点であり、再試験対象は4名であった。ほとんどの学生が標準的レベルに達したが、理想レベル（概ね80点以上）に達したものは29名と、全体の三分の一強に留まった。学生による到達度自己評価の結果を見ると、知識理解に関する項目は平均値4.1、3.8、思考判断に関する項目は平均値3.9、3.7であり、ほぼ全受講生が「③まあまあ思う」以上と評価していた。しかし、学習量の評価については、1回30分以上の準備をした回が4回以上あった学生は6.3%、1回30分以上の復習をした回が4回以上あった学生も6.3%と非常に少なく、またシラバス等の情報を利用して授業を受ける計画を立てた学生は半数にも至らず、さらに図書館等利用して理解を深めた学生はほとんどいなかった。当科目の自己学習について具体的に、徹底した形で提案すれば、全学生の確実な修得に繋がったのではないかと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「保育の内容・方法に関する科目」に位置づけられ、保育士及び幼稚園免許の資格取得に必要な科目である。受講動機は、必須であるため、資格取得に必要なためと多くあがっていたが、DPの行動目標である知識理解、思考判断については、学生の目標達成状況の結果や成績から見て達成されたと言え、内容的妥当性は問題ないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」は平均3.4と低かった。本科目は講義形式であったため、ディスカッション等の機会を多く設定することが難しかった。授業で教示した知識・理論を用いて応用方法等検討する機会をうまく設けて、意見を促す投げかけを工夫すると習得したものを幅広く活用できることに繋がったと考えられる。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>「保育の内容・方法に関する科目」にあたる本科目の位置づけから、障がい児及び特別支援を要する子どもの理解と支援に関する基礎的知識理解、思考判断の習得については、概ね達成できたと考えられる。しかし、本科目の学習量に課題を残した。授業準備や復習に時間をかけた学生がわずかであった、他の科目の準備負担を考慮し、確実にできる具体的な予習・復習の方法を具体的に提案し、達成状況の向上を図る必要がある。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
乳児保育Ⅰ	1	後期	選択	いいえ	78

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>・資格取得の必修科目であることを踏まえ、テキストや参考文献を活用しながら伝えるべき内容を網羅するようにシラバスに従って授業を進めた。</p> <p>・これまで3歳未満児と関わった経験がない学生が多かったため、保育現場をイメージしやすいように守秘義務に配慮しながら写真や動画を活用したり、事例を説明したりすることで理解を促していった。</p> <p>・始めて保育所実習に出ることを視野に、現場で役立つと思われる事例をもとに、子どもとの関わり方や保護者対応などについて考えるグループワークを組み入れたり、実際に保育人形を使って着替えやおむつ交換の演習、またふれあい遊びやわらべ歌などの実技も取り入れて授業を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・全体を通しての成績は85.5（±7.3）であった。総合評価としては多くの学生がAやBの標準以上の評価であった。</p> <p>・しかし定期テストでは、1名の学生が60点以下の得点であった。その後に課したレポートでは、授業内容を踏まえた課題のポイントを押さえた記述ができており、概ね知識理解は達成されたものと思われる。</p> <p>・授業態度は概ね良好で、私語はほとんどなかった。時々集中が削がれて居眠りをする学生がいたが、声掛けにより前向きに授業に臨む姿勢は感じられた。</p> <p>・着替え、おむつ替えといった演習にも積極的に参加して要領を覚えることができた。また乳幼児の発達を促す手遊びやふれあい遊び、わらべうたなどについても演習の経験で実践に活かすことができたと思われる。</p> <p>・次回の授業の内容をテキストの箇所等で伝えていたが、ほとんど予習をしてきた様子がなかった。今後の課題として学習準備の仕方を工夫していきたい。</p> <p>・授業に関する質疑応答の時間を設けていたが、学生の反応が少なかった。また学生が参加できるグループワークの機会が不足していたので、学生の主体的な学びにつながりにくかったと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付けられており、保育士資格取得に必要な科目である。ほとんどの受講生は資格取得を希望しており、前向きに授業に臨んでいた。</p> <ul style="list-style-type: none">・1名の定期試験が不可の学生がいたが、その後のレポートでは、課題内容のポイントを押さえた記述ができており、内容理解はできていると思われる。・以上より、内容的妥当性に問題はないと思われるが、学生の思考・判断という観点からは、学生の主体的な学びを促すために授業内容の改善が必要である。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・これまで3歳未満児との関わりがほとんどない学生に対して、実習前に必要な知識・技術を伝えるべく、できるだけ具体的に講義や演習を行ったが、特に法令や保育指針等の内容を説明するときに、学生の学習意欲が落ちている印象があった。現場での事例をはさみながら画像等も利用した講義や遊びの演習などは高い関心を示して受講することができていたため、分かりやすい事例を組み込んだり、途中で手遊びを盛り込むなどしながら、必要な内容はもれなく学習できるようにしていく。法令や保育指針、倫理綱領等の必要性を伝えられるように工夫していきたい。・「自由記述」では「3才未満児に対する支援法や理解が深まった」との意見があった。現場での事例を用いて解説したことで、現場での様子がイメージされて理解を促したと思われる。・しかし、学生の主体的な学びが保障できるように、質疑応答の時間を充実させたり、事例検討などのグループワークの時間を改善していく必要がある。
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業内容を理解できている学生は多く、学んだことを実習等で生かそうとしているが、少数ではあるが理解や応用が難しい学生がいる。よって興味・関心が持てるような事例の説明や遊びの演習等を盛り込んだ授業を工夫し、学生の主体的な学びと理解を促すようにしていきたい。また予習の必要性についても理解を促していく。・学生の知識・理解という観点からは目標は達成されたと思われるが、学生の思考・判断という観点からは、学生の主体的な学びを促すために上記のように授業内容の改善が必要である。
-------------------------------	--

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教保育	1	後期	必修	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本学のキリスト教の特色を生かした必修科目であるが、受講前はほとんどの学生が関心がないことを踏まえ、以下の3点において、キリスト教に関心のない学生でも興味をもって取り組んで行けるよう工夫した。</p> <p>①キリスト教と保育の関係性について明確にすること ②「感恩奉仕」の精神を生かした学びとして「世界の子どもたち」について調査し発表すること ③キリスト教学Ⅰで学んだ聖書の物語についてシナリオを作成し、実際に演じてみること。</p> <p>②③は学生自らが主体的に学ぶ訓練として導入し、「世界の子ども」の発表によって視野を広げ、「聖書の物語の劇」を創作することにより、監督を中心にシナリオを製作するなど、保育現場でも生かして行ける内容を工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された			やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度の自己評価①自分なりの目標を達成した(4.1)、②知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(4.1)、④専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた(4.1)、⑧コミュニケーション力や表現力を高めることができた(4.1)、また、到達度自己評価の平均値4.0などからわかるように、教育目標はやや達成されたと言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本学のキリスト教の精神に基づき専門科目の「保育」を学んでいくという、本学のユニークな科目である。教養教育との違いが心配されたが、到達度の自己評価の中の専門分野に触れる質問に関し、平均値が4.0であり、職業倫理や行動規範を学ぶ事ができた(4.0)、職業選択の参考になった(3.9)からもわかるように、内容的に妥当であったと言える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「世界の子どもたち」の調査・発表、「聖書の劇」の製作・発表により、学生が参加する機会が作られていた(4.3)からもわかるように、講義と演習とのバランスは妥当であったと考えられる。発表の準備期間多く確保したため、今年度は発表の振り返りまでできたことは良い成果であった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本学独自の科目であり、他大学の保育科との違いを明確に出す必要がある。毎回の学びがキリスト教つまり本学の「感恩奉仕」にいかにつながっているかを意識しながら展開できるように、科目に関心のない学生に対しても関心を引き起こすことができるような工夫を行なっていきたい。

「世界のこどもたち」の学びは、学生の関心が集まるテーマである。キリスト教保育は日常生活では触れることのない広い世界に目をむけていく視点を含んでいるため、この点を活かしつつ、今後も学生たちの関心を汲み取りつつ展開していきたい。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども音楽療育概論	1	後期	選択	いいえ	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①心身に障がいのある子どもたちに発達の援助を行うことができる「こども音楽療育士」資格認定の基礎となる科目である。資格習得に必要であると自覚し57.5%の学生が関心のある内容であることを受講動機にあげていた。</p> <p>②末成による障害のある子供たちへの実体験に基づいた音楽セッションを折々に盛り込んで学習意欲を高めさせたり、療育的に有効な楽器を実際に手に取らせてその機能を実感させたりして自主的な学習を促した。末成指定の音楽療育・障害に関する図書を毎回紹介させる課題を設け、共に学ぶ姿勢を大切にしたい。</p> <p>③努めて学生の意見を聞きレポートを添削して助言を伝えることで、2年生前期の「こども音楽療育演習」、後期の「こども音楽療育実習」への意欲を喚起できたと考える。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①学習到達度の自己評価が「知識の確認・修正・新たな獲得」の項目は4.6、「コミュニケーション力や表現力の向上」4.5、「課題を検討する力を得た」・「的確に判断する力を得た」・「学びを深めたいという意欲がもてた」などの項目がいずれも4.4という値が出て、学生自身が目標を達成したという手ごたえを持ったと考えられる。</p> <p>②自由記述で聴覚障害についての講義が印象に残ったという意見があり、「聞こえないから音楽を楽しめない」という先入観を払しょくし「音楽の楽しさを伝える」という根本の部分を感じながら学修していた姿が見られた。[毎週授業を楽しみにしていた]という記述は、そうした実体験と障害について生きにくさを想像することができるようになり、</p> <p>③A4サイズのノートを使って毎回の授業を記録することで、プリントのファイリングでは得られない知識の定着が可能になることを前年度で確信したので専用ノートの徹底を実行した。これは2年生の「こども音楽療育演習」「こども音楽療育実習」と1年半にわたる短大としては最長の継続的な学びになる。</p> <p>④出版される時点で何らかの検証が行われる活字の信頼性について繰り返し申し伝え、ネット情報の危うさについて注意喚起をした。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講に際してシラバスを参考にした学生はそうでない学生の半数であった。オープンキャンパスおよび受験時の面接で、音楽療育に関心があり、この学校でぜひ学んでみたいという学生が何人もいたので、担当者としては身の引き締まる思いで臨んでいる。学習量の評価の結果を見ると、30分以上の復習は61パーセントの学生がしたことがある、という程度で、毎回振り返りをするという段階にはならなかったので関連の書籍の紹介などをもっと徹底する必要性を感じた。授業の後の30分の復習は学習を深める大きな力になるので今後はさらにこの点を学生に徹底して伝えていきたい。</p> <p>②スマホで手軽に見ることだけで安易に障害について理解したように考えてしまわないことを指導した。図書館を利用し、信頼できる書籍の活用を通して、いろいろな角度から問題点や方法を考えてほしい。</p> <p>③学生は、「音楽は自分にとって心地よく大切なものである」とは感じているが、障がいを結び付けて考えることがほとんどなかったようだ。この講義を通して毎日の生活の見慣れた保育の場面での「音楽のもつ力」というものについて改めて考え、それが障がいを持つことにも、他者とのつながりのきっかけになるということが理解できたことは学びの成果だったと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>到達度自己評価の10項目のすべてが4,3以上の値で、そのうち3項目が4,5以上の値を示していたので、概ね学生が理解できる正当な授業が展開できたのではないかと考える。授業者である私自身が、本年度は所属する日本音楽教育学会の50周年を記念する全国大会で「聴覚障害乳幼児の実態と音あそび」について研究発表したという取り組みの姿勢も影響して、受講生も聴覚障害乳幼児への関心を持ってくれたように考える。今後も私自身が研究を深めていく必要を強く感じた。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>まず導入では未成の実体験を多く取り入れて聴覚障害への講義を行い、具体的な様々な角度からの不自由さを理解し、映像などを提示しながら、音楽の力と障がいのある子どもへの理解を深めさせた。受講する学生は入学時からこの科目に強い関心を持って受講しているので受講態度も大変まじめで向学心を持っていた。地域の障がい者施設、音楽の多様な力を持ってする「療育的保育」ということには最初はなじみが薄いという印象もぬぐえなかったが、回を追うごとに積極的な調べ学習や取り組みが見られた。発達障がいを含めた多様な障がいの実態を知り、近年ますます多様化、重複化することの障がいを理解するために、できるだけ実際の音や効果、方法、音楽の力を示しながら講義を進めた。日常の保育の中で、障がいのある子ども、そうでない子ども、音楽の力を使って人間関係を築く場面を設定できる「子ども音楽療育」という分野は、次につながる「子ども音楽療育演習」「子ども音楽療育実習」への理論構築になる。子ども音楽療育士を目指す学生たちは、障がいの厳しさと同時に、音楽の持つ人間への様々な影響力や、五感の中の「聴く力」に理解を深めることができたと考える。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどものうたあそび	1	後期	選択	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①歌はこどもの感性を刺激し、表現を促し、他者と感情を共有する経験を作る。保育所や幼稚園では季節や行事などの幼児歌曲を声を合わせて歌い、その時には声のみでなく、自然と動作がついたり身体の心地よい動きを誘発したりする。「うたあそび」はそうした音楽と園生活が密接に結びついた土壌から生まれる。学生には、こどもたちにその時々にあふさわしい歌唱教材を選ぶ確かな目を養い、毎日の保育の中で、幼児の成長に欠かせない歌あそびの楽しさを伝えてほしいと願っている。その思いを十分に学生に伝え、授業に臨んだ。</p> <p>幼児は声を聴こうと感覚器官を働かせ、手足を動かし、声を出して、その時に表現できる方法で反応し、積極的に模倣しようとする。歌はこどもの感性を刺激し、表現を促し、他者と感情を共有する経験を作る。保育所や幼稚園では季節や行事などの幼児歌曲を声を合わせて歌い楽しむ。うたあそびはだれかと一緒にグループを作って遊ぶなどして人のかかわりを促す。かかわりをもつ中で楽しみを共有し、役割を担い、社会性を養う。保育者を目指す学生には、豊富なレパートリーを持ちそのレパートリーの中から歌の魅力を子どもにしっかりと伝えられるうたあそびの力を養う重要性を十分説明し、お互いを聞き合い、見せ合い楽しみ合う時間を積極的に設けた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された				やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①到達度自己評価見ると、特に「自分なりの目標を達成した」の項目で学生が「かなりそう思う」、「わりにそう思う」を合わせて73%だったのは、自由記述にもあるように「伴奏を弾く友達のピアノが刺激になって自分も頑張ろうと思った」「歌うことが楽しかった」などにも表れていて、お互いを認め合えるよい雰囲気の中で学ぶことができ、恥ずかしいとか、失敗するかもしれないというマイナス思考を払しょくすることができたからだと考えられる。</p> <p>②それは授業評価の(4)「話し合う、発表するなどの学生が参加する機会がつけられていた」という項目で「まあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と全員の受講生が答えたことから裏付けられる。</p> <p>③今年初めて歌の試験は全員の前で行い、学生どうして伴奏も依頼し合いながら行ったが、少しの不安も不満も生じず、和やかな雰囲気の中で行われて大変楽しい授業になった。昨年までは2人態勢の授業であり始めるまでは教師の側に不安があったのだが、それを払しょくするよい展開になった。評価基準に不公平感が出てはいけないと考えていたが、「評価基準は明らかであったかの」の項目は98%の学生が「まあそう思う」「わりにそう思う」「かなりそう思う」と回答していたので、授業の進め方は適正であったと考える。</p> <p>④視覚教材を使った歌あそびの課題に対しても全員が積極的に取り組んで発表も学生どうしが互いに良い刺激を受けながら和やかに行われた。ただし、類似の教材が出て、それはネット上のものであり安易なものを取り入れやすい現代の盲点も垣間見た。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>「うたあそび」とは、身体の動きとルールを伴う歌であり、「幼児歌曲」は、こどもにとって「聴いたり歌ったりすること」そのものが楽しいもので、まさに遊びと言葉と音楽とを切り離すことができない一体化したものであるといえる。つまり幼児歌曲とあそびの要素を内包したものが「うたあそび」なのである。この視点から見ると、課題曲の選曲、授業の進め方の両面において本講座はDP、CPの位置づけから検証し、妥当であったと考えられる。自由記述の学習量の評価で、授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由として「時間がないから」という記述があり、授業の歌をもう一度一人で歌ったり弾いたりしようという意識の不足は、「関連する歌をもっと知ってほしい」と考える教える側の思いが十分伝えきれていなかったと考える。視野を広げて新しい歌に取り組むという啓発をしていかなければいけない。このことに関して今後の課題であるが、図書館には楽譜が大変不足している。というのも、図書の観点から楽譜は消耗品で図書館で購入できないということなので、少し合点がいかない。曲の説明のついているものなら書籍として良いとのことだが、歌の本や器楽合奏、その他の楽譜を学生が手にすることができるようにするにはいつも私の個人のものを使用している。この点はまだまだ改善していかなくてはならないと考えている。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「積極的にピアノ伴奏を学生が行ってほしい」ということを授業の初めに伝え、次週の課題となる曲目をはっきり提示して予習が必ずできるように心掛けた。保育園・幼稚園では年間を通じて毎日必ず音楽を使った活動や歌う活動がある。「うたあそび」つまり、歌いながら手や指先、からだを動かしてあそぶこと、リズムにのってあそぶことが人間関係を深めていくこと、園生活において保育者は「うたあそび」を積極的に取り入れ、こどもたちに歌いかけ、スキンシップをし、ふれあいながら遊ぶことが集団遊びにつながることで、そして保育者や友達と一緒にリズムに乗って軽快に動く遊びの中からこどもの「協調性」や「感性」が育つことを毎回多くの楽曲とおして学ぶ授業とした。伴奏に関して、最初はためらいの多かった学生も、回を重ねるごとに自信をつけたり、互いに励ましあったりしていた。「はじまりとおわりのうたあそび」「指や手の動きを楽しむうたあそび」「体の動きを楽しむうたあそび」「行事や生活のうたあそび」「集団で楽しむうたあそび」などテーマを絞って提示することと、単独の身体表現を含めてのうたあそび・輪唱あそびを行うなかで積極的に「うたあそび」を楽しむ姿勢が身についた。授業の質の評価では、「評価基準は明らかであった」を「わりにそう思う」「かなりそう思う」を合わせると62%であった。学生がこれからの実習や他の授業での取り組みに対して、保育者としてこどもたちの前で明るく表現できるようにさらに支援をしていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生は明るくはっきりした歌声で歌い合い、見せ合い、動き、あそび、たくさん歌を自分のものにしていった。うたあそびの持つ楽しさの要素やこどもの発達とのかかわり、そしてさらに楽しい活動へと発展させる方法を目指して授業を展開した。ピアノ伴奏を学生どうしで行ったのは、個人的に行った途中の回で行った授業アンケートでも「ピアノは、こうして大勢の前で伴奏することがないので勉強になって将来に役立つ」と好意的な意見が多かった。固定された学生ばかりが担当するというのもなく、空き時間を利用して和音の簡易伴奏を個人的に教授することができて、私自身もやりがいがなくなった。こどもの興味・関心・心身の発達に応じてた視覚支援教材を作ったうたあそびの手がかりを作るとはとても良かったと考えるが、お互いの評価で「自分ならこうする」というくらいのもう一歩踏み込んだ改善案がたくさん出てきてほしいと感じた。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどものためのピアノⅡ	1	後期	選択	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。</p> <p>全員が前学期に開講した「こどものためのピアノⅠ」から継続して履修している学生のため、本科目で更にピアノの技術の習得がより深まるように、学生が夏季休暇中にも予習復習ができるように配慮した。</p> <p>また、個々のレベルに応じてピアノの技術を習得していく科目のため個人レッスンの形態をとっている。その際、非常勤助手の教員9名を含め10名の教員が本科目を担当しているが、非常勤助手9名のもとグループをつくり個人レッスンを行い、科目担当者は全学生の進捗を把握し、学生からの質問の場や発表の場を設けることのできるようローテーションの体制をとっている。</p> <p>また、グループの偏りがでないよう、入学前までの学生のこれまでの音楽経験や、前期で履修した「こどものためのピアノⅠ」での課題の進捗状況をもとに、グループ内の個々のレベルを均等に分け、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない				やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は71.5点であった。（S-6人、A-23人、B-21人、C-9人、D-17人）本科目は保育において必要なピアノの技術を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等の経験の異なりや、前期で履修した「こどものためのピアノⅠ」において習得した課題に応じて、学生によって本科目での目標の達成にばらつきが生じている。そのため、「到達度自己評価」の全般的評価の平均値は4.1であるが、DP5技能・表現における「自分が学ぼうとしている専門分野について、必要となる技術を身につけることができた」の平均値は4.4とあり、保育者として必要な技術を身につけるために個々のペースで取り組んでいると考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許（選択）、保育士資格（選択）の科目である。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。</p> <p>DPに関しても「到達度自己評価」の「技能表現」において、ほとんどの学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答している。</p> <p>また、自由記述において「授業の課題以外に具体的に取り組んだ練習」の欄に「他の児童唱歌を練習した」「1、2曲多めに練習を行った」「課題以外の曲を取り組んだ」等、意欲的に授業で習得したものを活かして取り組む様子がみられた。</p> <p>以上のことにより、内容的妥当性に問題ないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>ローテーションの形態をとることにより、学生が発言しやすい場を設け、学生の進捗を把握し各担当教員との連携を図れるよう心掛けた。</p> <p>また、今期はローテーションの際に少人数での発表の場を設けることにより、学生の課題に対する意識を高めるだけでなく演奏する際に大切なことを改めて考え、気付きの時間となるよう心掛けた。</p> <p>しかし、「授業の質の評価」において（４）（５）の項目では「全くそうでないと思う」「少しそうでないと思う」の学生が5名程度みられたため、学生がより発言しやすいようにローテーションの際、発表の仕方を改善する必要があると考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の授業への取り組み状況や、自己評価の技能・表現における結果から、概ね授業の目標は達成できたと考える。上記の課題から、次年度ではより学生に即した指導をし、学生が質問がしやすく発表の場で積極的に参加していけるよう教員間で連携しながら授業を展開できるよう心がけていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	谷口 幹也

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの造形あそび	1	後期	選択	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業では、学生の主体的な学びを重視し実施した。本授業が保育士、幼稚園教諭の免許取得に必修であることを前提とし、保育における表現領域において、幼稚園教育要領、保育所保育指針が示す理念と内容を解説した上で、「主体的な学び」、「遊びは重要な学習である」ことを、グループ活動による表現を通して学ぶことができるよう配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された				やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講者のDPを確認し、全体をとおして「やや達成された」とした。</p> <p>技能表現 (DP5)に関しても、受講者の自己評価から「やや達成された」とした。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性

DC, CP, カリキュラムから本科目の内容的妥当性は、「ほぼ達成されている」と判断する。その理由は、受講者の到達度自己評価が全項目の平均値が中央値に位置しているからである。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

アンケート結果から、本科目に関して授業の狙いを十分に理解できていない受講者がいることを把握することができた。

オリエンテーションの内容の工夫、また各授業の際の学修目標の提示等を行い授業改善を行う。

保育士、幼稚園教諭の免許取得に必修であることを前提とし、「主体的な学び」、「環境を通した教育」を実現する教材、指導法の前提となる子どもの造形遊びに関する基礎理解、学修をグループ活動を通して行っていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	末崎 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学科専任教員がゼミ活動として担当する科目である。子ども理解や保育技術の向上、特に本年度より始まった「認定絵本土」の資格取得につながるよう、前年度と比べてもよりおはなしの技術向上の内容を充実させた授業計画を立てた。また、ゼミ毎の活動内容のばらつきがなくなるよう配慮した。前期は近隣園での「遊び体験実習」を、後期は「おはなし発表会」を中心に計画化した。それぞれの活動に準備から振り返り学習までを、各ゼミ担当者が共通に行えるよう事前に通知し、内容の共有化を図った。</p> <p>学生は少人数のグループで、各自の役割分担と協力する体制が取れるよう指導を行ってきた。</p> <p>評価に関してもゼミ毎の公平性を保つため、ゼミを持たない学科長にレポートの採点を依頼するなどの配慮を行った。</p> <p>卒業必修科目であるため、学生の受講動機は明確である。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>平均点は97点で、年間を通して学生の出席率も非常に良く、ゼミにおける人間関係が非常に良好であり、役割意識を持って授業に臨んだと考えられる。前期の「遊び体験」では、特に振り返り学習や事後レポートのなかで子ども理解を深められた手応えを感じた学生が多くおり、保育職を目指す学生としての態度は十分に養成し得たと考えられる。</p> <p>また、後期では「おはなし発表会」の準備と実施を通して、人前で表現することの難しさを学び、また影絵など新しい表現の方法を学生が身につけられたためか、「技術を身につけることが出来た」「表現力を高めることが出来た」が5.0と高い結果を得ることが出来た。学生全員が次年度も同じゼミに残りたいと強く希望し、継続的な学習への期待の高さも伺えた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門教育科目」の「総合演習」に位置付けている。8名という少人数の単位で、仲間意識を高めながら自発的に企画運営を行う内容であり、また保育者としての専門性も求められるため、内容は妥当であると考えられる。またDPに関しても、保育者として必要な態度を形成することが求められ、自分たちで考えた内容を時準備し実行するなど、DPについても妥当であると考ええる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>学生からのアンケート結果が非常に良好で、驚いた。楽しく学んでいる姿が常にあり、学生の希望することと、こちらが提示する内容とよく合致し、また学生間でのコミュニケーションが非常に良好だったこともあり満足度が高かったと思われる。 一方で、予習復習や準備を行ったと答えた学生が少なかったため、授業時以外での自主学習をどのように提示するかが課題である。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>授業の目標は十分達成できたと考える。</p>
-------------------------------	---------------------------

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機は保育科必修であるために、いかにグループが生き生きと活動でき、「保育者になろう」という意欲を高めることができるかに心を配った。機械的な分け方により偶然同じゼミになったとはいえ、各々が自分の意見を持ち保育に生かせる手立てを共有し合い良好なコミュニケーションを取り合えるような雰囲気を作るように努めた。</p> <p>②授業の初めに保育に生かせる自分の特技、好きなこと、これから身に着けたいことなどを自由に発表し合い、お互いを知る場を設けた。</p> <p>③1年を通じて学科共通の授業の流れが示されているので見通しが立てやすい。新入生研修、あそび体験、お話発表会、それらの活動の中に認定絵本士資格習得のための講座があり充実した内容に期待を寄せる様子が見えた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>あそび体験レポート 10点満点、おはなし発表会事後レポート 10点満点、企画発表点など 20点満点、その他ゼミでの企画への貢献度60点満点で、全員が90点以上になった。末ゼミとしての特徴は音楽を中心に据えるということで、新入生研修におけるゼミ活動では「パラパラどんぐりころころ」というなじみのある子どもの歌をハイテンポにアレンジしたものを使得の身体表現、目隠しをして保育の日常で使う打楽器を聞き分けるゲームなどを実施した。また後期の「お話発表会」では、「おどりたいの」という絵本を用いて学生の非常に積極的な取り組みを目の当たりにし、リーダーを中心に物語を構築していく活動を学生自身が積極的に楽しみ、充実感を持って取り組んでいたのが大変有意義な展開だった。1年間の学びは保育の現場で必ず役立つものだと強く感じた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>年間授業計画は学科で立てられていて、内容的には全教員の共通理解に基づいているが、学生の主体性によって、新入生研修やお話し発表会を進める。本年度は大変積極的に取り組んで、方法や手順を教師が示すこともほとんど必要なく、発表会まで進めることができた。</p> <p>「おどりたいの」の絵本に関する音楽やピアノ曲の練習、歌の選曲などは相談に応じて練習のアドバイスをを行った。「専門分野で必要な技術を身につける」で「わりにそう思う」「かなりそう思う」が75%で、音楽的なことに少し偏ったためかと考えた。踊りの得意な学生が複数人集まったことは意欲向上と、身体表現を楽しむという観点から大変良かった。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学習量の評価で30分以上の準備や復習がほとんど行われなかったと回答されていたが、絵本士に関する勉強は図書館を利用したり、保育科の絵本の部屋を利用していたので、授業評価の時に思い返すまでの考えが至らなかったのだと思う。絵本の部屋は活発に活用していて、発表のための発声の練習を含め、言葉に関心を寄せることができたと思う。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>保育という職業への理解を深め、実践力を身につける目的を持った本科目であるが、前期の人間関係を深める活動と子どもとの遊び触れ合い体験はまだ緊張感が取れない学生が多く、「コミュニケーション力を高めることができた」の項目で「わりにそう思う」「かなりそう思う」と回答した者が75%にとどまった。ここではもう少し高い値を得る必要があると考えた。後期は「お話し発表会」に重点がおかれ、外部講師の有益な講義があったにもかかわらず、科目専用のノートを作り、実践につなげることが少し手薄になった。プリントに書き込むだけでは振り返りの時に紛失することも多いので次年度への反省としたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」, 自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育科の必修科目である。一年を通して、他者と協働する力や短大生としての基礎的能力を高められるように授業を展開している。テーマごとに目的を明確に伝え、昨年度までの資料を有効に活用して学生が「何をすればよいのか」理解しやすいように配慮した。教員は極力様子を見守り、ゼミ長を中心に学生自身が考え行動できるようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標></p> <p>「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は平均91点（最高点98点）である。全員がAまたはBを取得しており、目標はほぼ達成されたと考えられる。「到達度自己評価」では、平均値が4.1～4.5の間である。目標達成や知市区の修得専門分野に関する課題の検討に関する項目については4.5（中央値も4.5）であり、学生自身が前向きに取り組んできたことがわかる。本年度は大学祭への模擬店出店を自ら企画し、市場調査等の取り組みを行ってきたことが関係しているのではないだろうか。今後、ゼミのあり方をさらに工夫することによって、さらに内容を深化できるのではないかと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>本科目は各科目で学んだことを意識しながら、保育に関する学びを深められるよう配置された科目である。「受講動機」に関しては必修科目であるためであるが、「到達度の自己評価」をみると、学生は各取り組みの中で求められていることを理解しながら課題を達成できたのではないだろうか。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>授業の質評価は4.1~4.4であり、昨年度と比較すると全般的に高くなっていった。講座内容の見直しによって、学生に目的が伝わりやすく、より学生自身が主体的に取り組めたという意識が強くなったのではないかと考えられる。次年度も引き続き、活動の意義を明らかにし、学生が相互に意見を出し合えるような働きかけをしていきたい。しかしながら、評価基準に関する項目が4.1であったことから、もう少し具体的に伝えていく必要があるだろう。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標が達成できたと考えられる。「評価」については、適切な範囲で学生が意識できるように説明し、次年度も学生自身が考え、主体的に参加できる授業になるように心掛けていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は、必修科目だから履修している学生がほとんどであり、1年生を少人数グループに分け、アドバイザー制度とリンクしながら、学生生活や学習態度についても指導することが授業の目的である。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	学生の到達度の自己評価は概ね高い。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>専門科目への導入科目であり、初年次教育の位置づけである。授業内容は学科で検討されており、妥当な内容であるといえる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>新入生研修やおはなし発表会などの取り組みがなされたが、担当教員それぞれが取り組みの趣旨を深く理解することで、学生への指導も充実していくと考えている。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>授業内容は妥当であり、学生の達成状況も充分であるといえる。今年度は、10名以下での受講であったため、より細やかな指導やフットワークの良い活動が出来たと考えている。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、卒業必修科目であり、授業評価においても全員「必修科目である」と回答されておりきちんと認識されていることがわかります。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の成績評価は、「秀」66.7%、「優」33.3%であった。授業評価アンケート「3. 授業の質評価」でも「(4)」が平均4.5と高い数値を示しているのは、この科目に対して学生さんたちが積極的に授業に「参加」していたことを意味していると考えます。本科目の性質と評価は、合致しており、科目の学習目標は十分達成されたと評価しているのではないかと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は、DP4、DP5に該当し、授業評価アンケート「2. 到達度自己評価」は項目ごとで平均値にばらつきがあり、「(4) 課題検討」「(7) 技術の習得」が平均4.5と高値を示したことは、DPの配置に妥当性があったと考えられます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

ゼミでは、できる限り自分達で考え、行動することを目標としています。今年度のゼミ生は、それぞれが得意分野が異なり、支えあって取り組んでいました。そのため、ペースはのんびりでしたが、自分たちで納得しながら活動していたように見えました。また、今年度の「子ども学基礎演習」ではなかったため、ゼミ生には参加を求めなかったのですが、自主的に大学祭に参加してくれて、2年生を手伝い、子どもたちと良いかわりをしてくれました。本来の科目内容以上の取り組みに、成績評価に反映できなかったことは残念でしたが、この大学祭の経験が、後期後半のこの科目の育ちに大きく影響し、最終成績評価につながったのではないだろうかと思います。次年度は、学生さんの育ちをトータルに評価できるようにしていけたら、と思っています。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

6. と同様

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	はい	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受講動機は次の通り。①必修科目である100%。 ・学科における必修科目である。 ・少人数の利点を活かし、参加者相互の意見交換が活発に行われるよう演習形式で進行した。 ・グループワークを多く行い、能動的な姿勢を促した。 ・参加者各自が授業や学外実習から得た知見をグループで共有することで、事象の多面的な捉え方を促した。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された				達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験を経ての成績評価は、平均93点/100点であった。再試対象者は0名であった。 ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.4で最も高いスコアであった。 (7) 自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた (8) コミュニケーション力や表現力を高めることができた ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.0で最も低いスコアであった。 (3) 事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた (9) 職業倫理や行動規範（守るべきルールなど）について学ぶことができた。 (10) 職業選択の参考になった。 					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・学科のDPの態度（DP4）、技能表現（DP5）の基礎部分を担う科目として開講している。・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none">・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.6～4.1であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。・演習における各自の課題のための調査等に図書館を利用しているが、さほど自覚されていない。これは、授業中に全員で図書館に向かうなど明示的・統一的な行動を「図書館の利用」と認識しているためと思われる。
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<ul style="list-style-type: none">・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。・図書館を授業中に明示的・統一的に利用する活動を取り入れる余地があると考ええる。
-------------------------------	---

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育科の必修科目である。2年間の短大での学びの動機づけや保育者・社会人として必要な基本的スキルを身につけるために、学生が主体となって考えられるように工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は95.1点（S-8）である。すべての学生がSを取得していることから、目標は達成されたと考えている。授業評価アンケートの結果（コミュニケーション力や表現力を高めることができた3.9ポイント、授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた4.3ポイントなど）から、シラバスにある理想的到達レベルに達し、教育目標は達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育科の必修科目である。少人数のゼミ方式で、保育者としての「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」等を段階的に身につけるために、新入生研修でのレクリエーションの企画運営、大学祭での催し物の企画運営などを、学生を主体に行った。対象に合わせた計画を立て、実践したうえで自ら課題を見つけ改善していく姿が見られた。自己評価の達成率も3.9ポイントであったので、内容的に妥当であったと言える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>図書館利用やインターネット使用が少数の学生のみであったので、今後は全員が主体的に調査に参加できるように促したい。また、教員が提供した活動については積極的に取り組んでいたものの、学生自身が活動を提案する機会が少なかったため、学生自身が主体的に考えることができるようにしていきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>他者との協同やその他の取り組み状況を見ると、全体的には授業の目的は達成されたと考えられる。しかしながら、個々人については課題が残っていると思われるので、個人面談などを積み重ね、少人数制のゼミの良さを生かせるように検討したい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「こども学基礎演習」では、子どもや保育に対する理解を体験を通して深め、将来の保育者としての実践力を身につけることを目的としており、また、「人間関係形成・社会形成能力」を高めるために、少人数制のゼミ毎に授業を行っている。学生たちが自己を見つめ将来像を明確にしていく過程において、身につけておくべきチームワークやリーダーシップ、また、他者に伝える力を養える内容を取り上げ、学生自らが研究テーマを見いだせるよう援助し、教員主導ではなく、学生自らが主体的に進められるよう、配慮した。</p> <p>前期の新入生研修におけるレクリエーション、後期のおはなし発表会では、ゼミ長を中心に主体的にテーマをきめ、チームワーク力を働かせ成功に導いた。2年生のゼミが行なった大学祭における「フェアトレードのカフェ出店」については、ボランティアとして参加した。計画の時期から2年生のサポートを行うなど学生の主体性が見られ、当日の実施においても、ゼミ長のリーダーシップのもとよいコミュニケーションをはかり2年生をサポートした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートの結果より、①自分なりの目標を達成した(4.1)、到達度自己評価の平均値3.8、などから、全体として教育目標が達成されたと言える。達成の目安の標準レベルである「ゼミ活動に積極的に関わり、行事で自己の役割を見出し、仲間との協調を深められる。また、体験を通して学んだことを、他の授業や実習で関連付けながら理解することができる。」に対し、新入生研修でのレクリエーション、おはなし発表会、そしてボランティアとして参加した大学祭での一人一人の関わりは大変評価すべきところである。それらのイベントを学生が主体的に進めることができ、その成果を他者にわかりやすく表現することができたため、態度についても達成されたと言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は保育者としての経験値を養う「必修」科目である。グループとして自ら課題を設定し、発表にむけ切磋琢磨しながら、専門分野の知識を生かし、学内外において実践できたので、妥当だったと言える。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 自分なりの目標を達成した(4.1)、コミュニケーションや表現力を高めることができた(4.3)、到達度自己評価の平均が3.8ポイントであり、ゼミとしての内容に関しては妥当であったと言える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては、平均が3.8ポイントであり、大きな問題はみられないが、学習量において、活動の記録ができていなかったことが課題としてあげられる。記録の取り方について、今後検討する必要がある。また、情報利用や図書館利用についても、最新の情報に触れられるように促す工夫を検討したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>保育の体験や実践値をあげ、「人間関係形成・社会形成能力」を高めることに関し、トータルとして、学生の達成度が高かったことは今後につなげていきたいが、個人レベルでは、より細かい指導を必要としている学生もいる。極めの細かい指導を心得、一人ひとりがより積極的に関われるよう、サポートしていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、子どもや保育に対する理解を体験を通して深め、将来の保育者としての実践力を身に付けることを目的としている。保育者に必要とされる基本的な力を養うため、丁寧な個別対応を心掛けた。また、学生が主体的に考え行動できるよう意識的な働きかけを行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講生の最終的な成績評価として、S-7名、A-1名であった。</p> <p>学生による授業評価をみると、「学習達成度の自己評価」「授業の質的評価」の全項目で「まあまあそうだと思う」以上の肯定的評価を得た。しかし、「学習量の評価」では、授業準備や復習にかんする項目で約75%が1回未満、授業以外の自主的な学習に関する項目においても約75%がしていないと回答している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「専門教育科目」における「総合演習」であり、保育者に求められる基本的な力を養ううえで基底に位置づけられた必修である。</p> <p>DPに関して、「到達度自己評価」における態度および「技能表現」を示す項目で、全ての回答者が「まあまあにそうだと思う」以上の肯定的評価をしている。</p> <p>以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業では、学生が主体的に取り組むことができるよう、可能な限り学生が発言できる機会をつくっている。今年度は、大学祭でのイベント活動を展開した。企画立案から準備、当日の運営までを学生が中心となり取り組むことができるよう、意識的な声掛けや個別的なサポート、環境への配慮を心掛けた。活動後の学生の感想として「子どもたちの楽しそうな笑顔がみれて嬉しかった」などがあり、保育の学びへの動機づけにつながったのではないかと考える。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の評価結果から、本科目の学習目標は全体的にはやや達成できたと考える。本科目は保育者として必要とされる基本的な力を養うことに主眼をおり、学生個々の主体性、自律性を高めることは重要な課題である。次年度も、学生個々がこのような力を育むことができるよう、改善策を講じていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実務家教員としての経験を生かしながら、学生の主体的な活動が実践できるようにサポートしていった。 ・昨年度の改善点を反映させて、ほとんどの学生が保育の現場で勤務することを想定し、実習や就職した現場で役立つ内容を学生に選択肢として投げかけ、それを参考に学生が自主的にゼミ活動の実践計画を立てるように指導した。 ・また学生それぞれが自己を適切に表現して活動に参加できるように留意した。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を通しては、大学祭やおはなし発表会等の企画に積極的の取り組み、学生同士で協力しながら、企画、準備、実践を行い、多くの学びがあったと思われる。特に認定絵本士取得に関連する活動に積極的に参加し、アドバイスを生かしながらそれぞれのオリジナリティを生かしたアイデアを出し合って、有意義な活動になったようだ。 ・また活動を通して学生同士の交流も盛んになり、お互いに助け合う関係が構築できたようである。 ・途中、自分たちで立てた計画が順調に進まないことから、一時期意欲が減退してお互いに遠慮して積極的な意見が出ないことがあり、教員のサポートが必要であった。 					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p><授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>・本科目は、専門科目の「総合演習」の科目で、他の科目で知識や技能を学んだものをもとに、学生相互で協力しながら演習を行う授業であり、必修科目である。学生が主体的に行動に出るまで苦慮する面はあるが、保育者を目指すものとして得た知識や技能を生かし、協働しながら活動ができています。内容的には妥当であると考えます。</p> <p>・行動目標からみての内容的妥当性は、活動が順調に進まない時期の意欲の減退があったが、教員のサポートにより実践していく中で、失敗も今後には生かせることを実感できたようで、結果的に学生の主体的な学びにつながっていたようだ。よって、内容的妥当性に問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方法を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p><授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>・昨年度の反省を生かし、学生の自主性や主体性を尊重しながらのサポートを心掛けた。活動の途中で、計画が順調に進められないことから意欲が下がる時期があったが、教員のサポートで徐々に積極性が戻り、最終的に学生相互で達成感を感じられる活動につなげることができた。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>・学生の達成度自己評価とトータルの成績より、概ね授業の目的は達成されたと思われる。これまでの経験を踏まえ、失敗や挫折も次の経験に活かせるように、学生の主体的な学びを促す授業を心掛けたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2019年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅰ	1	通年	選択	いいえ	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育所実習Ⅰ、施設実習Ⅰを対象とした実習指導であり、1年生の通年科目である。実習に向けての事前事後指導および、保育職の多様さ、他職種との協働を含めた保育現場への心構えの育成が授業の重点課題である。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p><授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>多くの学生到達度の自己評価が高く、受講態度もまじめに取り組んでいた。実習先からの評価も十分であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

実習指導は、さまざまな科目により得られた知識と技術を実習で総合的に実践できるように支援するという位置づけであり、すべてのDPに関連する総合的な科目である。そのため、生活全般にわたるような自己課題の設定と振り返りなど、学生自身を見つめ直す機会となるような内容になっている。また、卒業後の進路とも直結する内容であった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」

「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

複数の教員が担当している科目であり、教員間の連携が重要となる。また、他の実習指導担当者との連携を図る必要があり、授業外での打ち合わせの時間を確保した。受講生に対しては、実習の重要性やそれに伴う実習指導の重要性を繰り返し伝えて、受講態度の改善を図る工夫をした。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

学外での実習を無事に終え、それぞれの園・施設からの評価も概ね良好であり、実習指導としての目的は概ね達成できていると考えている。また、実習終了後の振り返りで、学生の学びを深めることもできていると考える。